

令和5年度

新宿区区民意識調査

要約版

令和6年1月
新宿区

はじめに

新宿区では、基本構想に掲げる『新宿力』*で創造するやすらぎとにぎわいのまちの実現をめざし、さまざまな施策を実施しています。

施策を進めるうえで、区民の皆さまのご意見・ご要望を的確に把握していくことが必要です。そのため、区では、意識調査をはじめ、対話集会やモニター制度、区長へのはがきなどの広聴活動を行っています。

今回の意識調査では、毎年お聴きしている「居住意向」「生活における心配事」「区政への要望」などのほか、「町会・自治会と地域活動」「図書館サービス」について伺いました。

この調査の結果については、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。

併せて、この調査報告書を多くの地域の皆さまに参考としてご活用いただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民の皆さまに、心よりお礼申し上げます。

令和6年1月

新宿区 総合政策部 区政情報課 広聴係

(*)『新宿力』とは、新宿区に住む人々はもとより、新宿区で働き、学び、活動する多くの人々による「自分たちのまちは、自分たちで担い、自分たちで創りあげたい」という、《自治の力》を象徴的に表したものです。

目 次

調査実施の概要	2
調査回答者の属性	3
調査結果の分析	
1 居住意向	12
2 生活における心配事	13
3 区政への関心	16
4 区政情報の入手方法	18
5 区政への要望	19
6 区政情報の発信	21
7 選挙	22
8 町会・自治会と地域活動	23
9 図書館サービス	29

要約版の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 基数が少なく（30以下など）、標本誤差が大きいと考えられる場合には、参考として結果を図示している。
- (4) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (5) 複数の選択肢をあわせた項目の回答の比率（%）は、その選択肢の選択者数を基数で除して算出している。したがって、各選択肢の比率を足し上げた数値と差が生じることがある。
- (6) 図表の最大値は、領域を明確化するため上限値を100.0%とはしていない場合がある。
- (7) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (8) この区民意識調査では、統計数値を考察するにあたり、表現を以下のとおりとしている。

例	表現
80.1～80.9%	約8割
81.0～82.9%	8割強
83.0～84.9%	8割台半ば近く
85.0～85.9%	8割台半ば
86.0～87.9%	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	9割近く
89.0～89.9%	9割弱

- (9) この区民意識調査の結果をみる場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、「回答者数（標本数）が少ないほど大きく」、また、「回答比率が50%に近いほど大きく」なる。（詳細は、報告書参照）

調査実施の概要

1 調査目的

新宿区の区政運営の基本となる重要な課題に対する区民の意向・要望及び区民の生活意識等を把握し、今後の区政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 新宿区全域
- (2) 調査対象 新宿区在住の満18歳以上の個人
- (3) 標本数 2,500人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの層化抽出法による無作為抽出
(※住民基本台帳法改正に伴い、平成24年度から外国人住民を含む)
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送またはインターネットによる回収
(はがきによる予告・再依頼を各1回)
- (6) 調査期間 令和5年7月3日(月)～7月24日(月)
(※調査期間後に郵送回収した調査票については、できる限り調査に反映させた)
- (7) 調査機関 株式会社アダムスコミュニケーション

3 回収結果

- (1) 標本数 2,500人(日本国籍 2,205人 外国籍 295人)
- (2) 有効回収数 1,163人(日本国籍 1,092人 外国籍 68人 無回答 3人)
- (3) 有効回収率 46.5%(日本国籍 49.5% 外国籍 23.1%)

◆ 回収方法別内訳

回収方法	有効回収数	構成比
郵送	649人	55.8%
インターネット	514人	44.2%
合計	1,163人	100.0%

4 調査内容

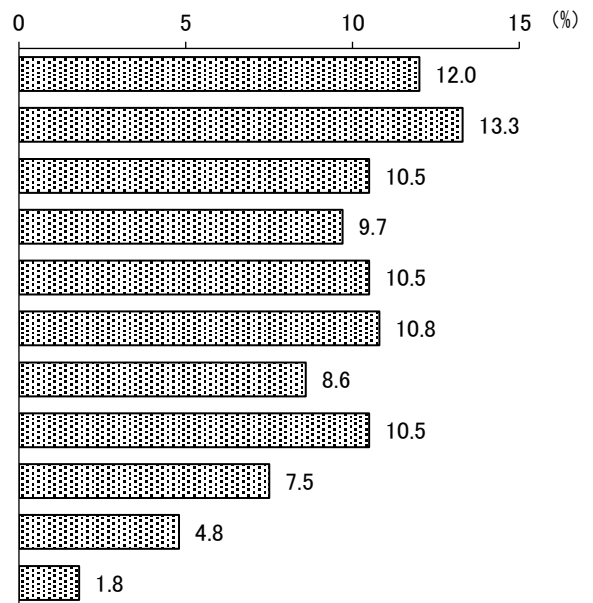
令和5年度 新宿区区民意識調査は、次の項目について調査した。

	<調査項目>	<問番号>
経年調査項目	・居住意向 ・生活における心配事 ・区政への関心 ・区政情報の入手方法 ・区政への要望 ・区政情報の発信 ・選挙	(問1～問2-1) (問3) (問4～問4-2) (問5) (問6) (問7) (問8～問8-2)
特集調査項目	・町会・自治会と地域活動 ・図書館サービス	(問9～問13) (問14～問18)

調査回答者の属性

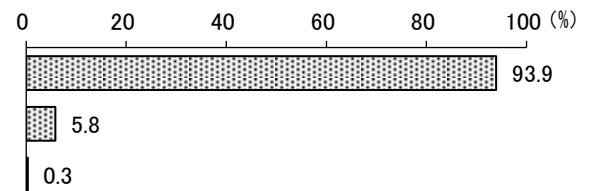
1 居住地域別

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 四谷	139	134	5	12.0
2 簗笥町	155	155	-	13.3
3 榎町	122	113	9	10.5
4 若松町	113	109	4	9.7
5 大久保	122	108	13	10.5
6 戸塚	126	115	11	10.8
7 落合第一	100	96	4	8.6
8 落合第二	122	115	7	10.5
9 柏木	87	78	9	7.5
10 角筈・区役所	56	51	5	4.8
(無回答)	21	18	1	1.8
合計	1,163	1,092	68	100.0



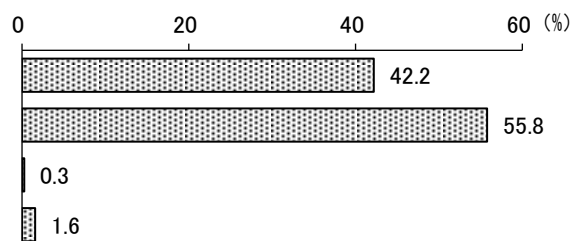
2 国籍別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 日本	1,092	93.9
2 日本以外	68	5.8
(無回答)	3	0.3
合計	1,163	100.0



3 性別

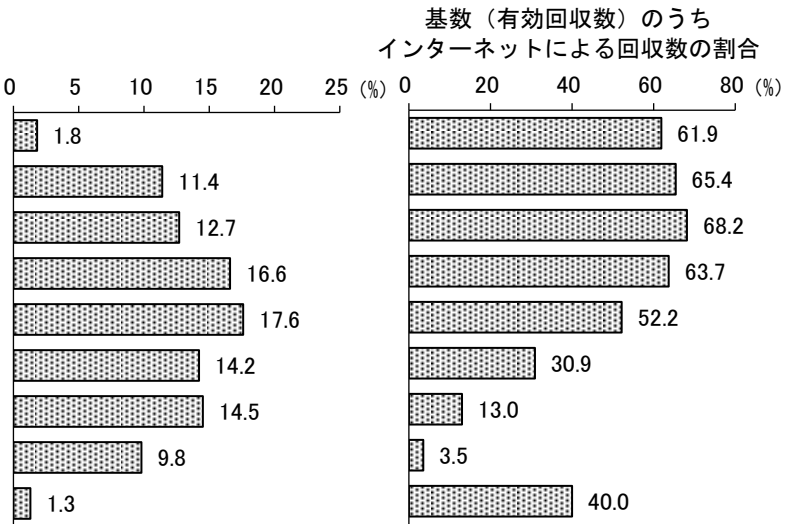
	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 男性	491	458	33	42.2
2 女性	649	613	35	55.8
3 (自由回答)	4	4	-	0.3
(無回答)	19	17	-	1.6
合計	1,163	1,092	68	100.0



4 性別・年代別

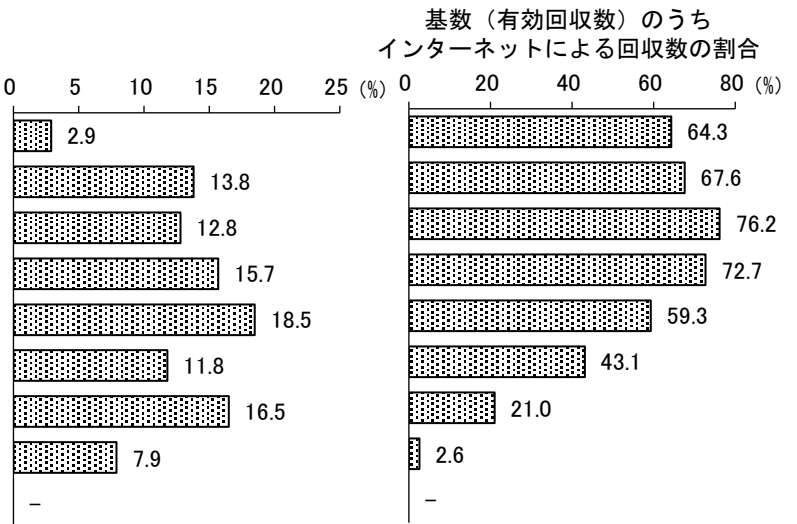
(1) 全体

	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	21 (5)	1.8
2 20歳代	133 (21)	11.4
3 30歳代	148 (16)	12.7
4 40歳代	193 (7)	16.6
5 50歳代	205 (10)	17.6
6 60歳代	165 (8)	14.2
7 70歳代	169 (-)	14.5
8 80歳以上	114 (1)	9.8
(無回答)	15 (-)	1.3
合計	1,163	100.0



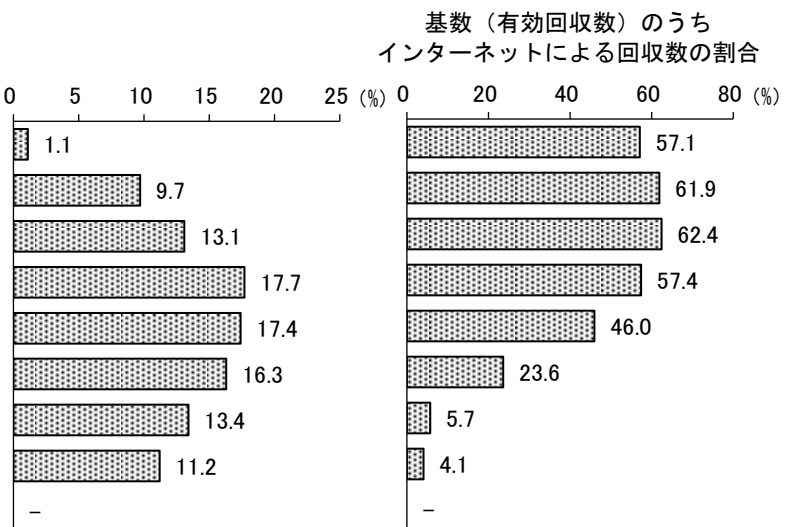
(2) 男性

	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	14 (2)	2.9
2 20歳代	68 (13)	13.8
3 30歳代	63 (5)	12.8
4 40歳代	77 (4)	15.7
5 50歳代	91 (4)	18.5
6 60歳代	58 (4)	11.8
7 70歳代	81 (-)	16.5
8 80歳以上	39 (1)	7.9
(無回答)	- (-)	-
合計	491	100.0



(3) 女性

	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	7 (3)	1.1
2 20歳代	63 (8)	9.7
3 30歳代	85 (11)	13.1
4 40歳代	115 (3)	17.7
5 50歳代	113 (6)	17.4
6 60歳代	106 (4)	16.3
7 70歳代	87 (-)	13.4
8 80歳以上	73 (-)	11.2
(無回答)	- (-)	-
合計	649	100.0

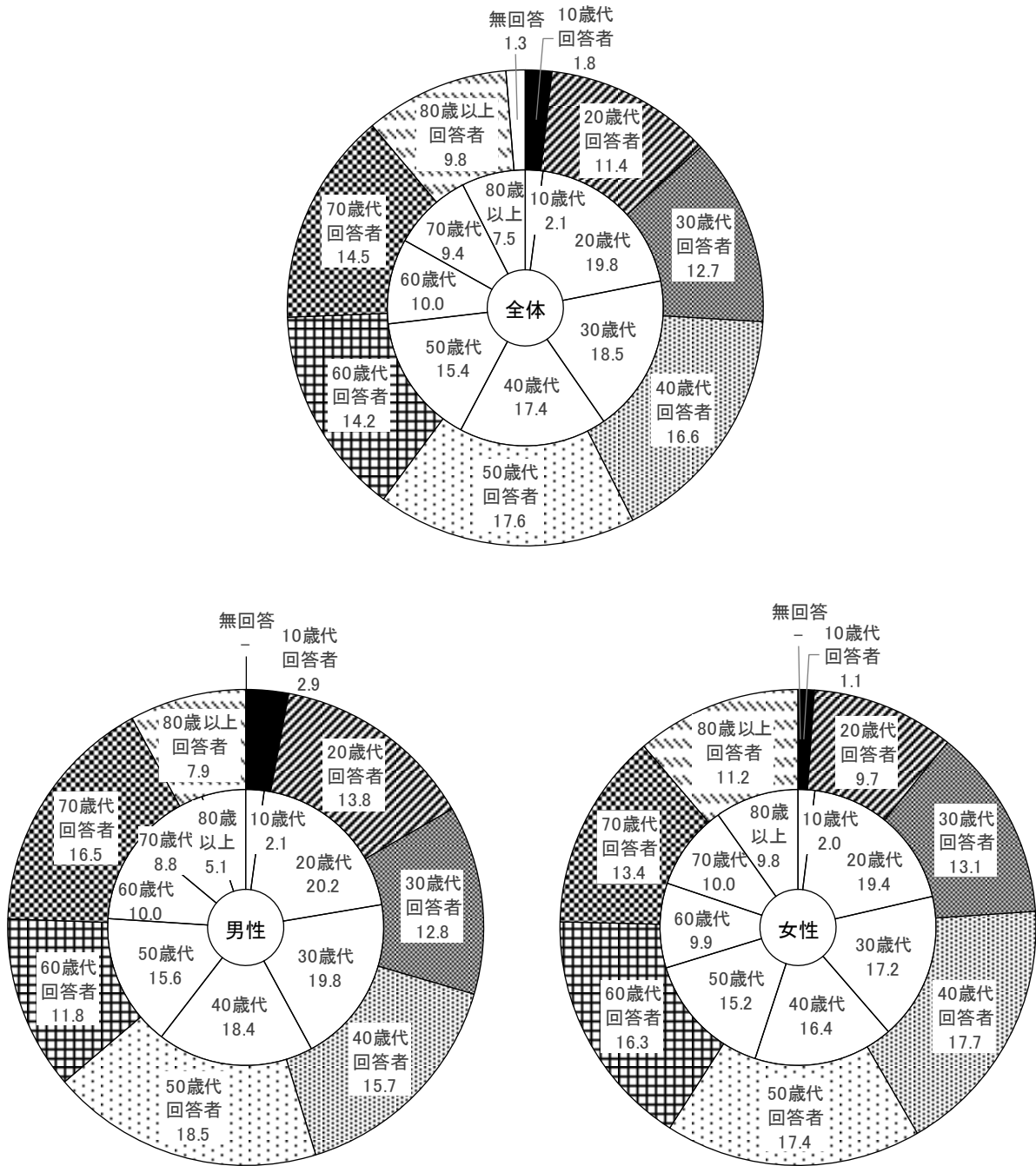


(注) ()の中の数値は外国籍人数を表す。

性別で4人が自由回答を選択している。年代は20代2人、40代1人、70代1人。回収方法は70代以外の3人がインターネットである。

性別で自由回答が4人、無回答が19人いるため、男女の人数を足し合わせても「全体」の人数と一致しない。

<母集団と調査回答者の構成比>

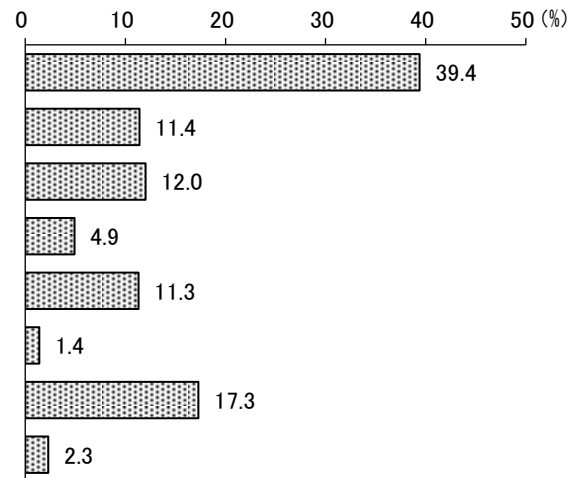


(注) 内円は母集団18歳以上の人口 (N=297, 777) の構成比、外円は調査回答者 (n=1, 163) の構成比を示している。

5 職業別

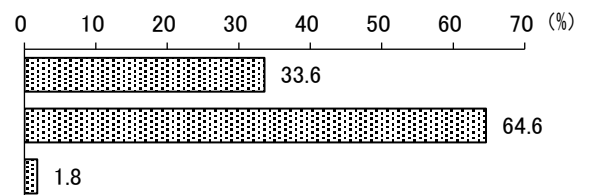
(1) 職業

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 会社員、公務員、団体職員	458	434	24	39.4
2 パート・アルバイト・非常勤・嘱託・派遣など	133	127	5	11.4
3 自営業・自由業	140	135	5	12.0
4 学生	57	37	20	4.9
5 専業主婦・主夫	131	122	9	11.3
6 その他	16	16	-	1.4
7 無職	201	196	5	17.3
(無回答)	27	25	-	2.3
合計	1,163	1,092	68	100.0



(2) 職場や学校の所在地別

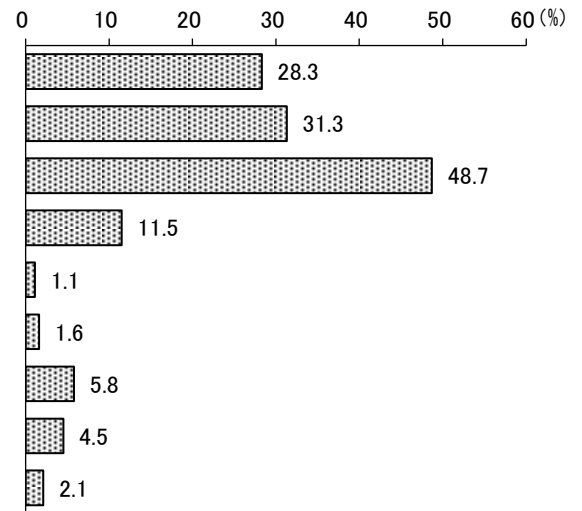
	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 新宿区内	265	234	30	33.6
2 新宿区外	509	486	23	64.6
(無回答)	14	13	1	1.8
合計	788	733	54	100.0



6 家族及びライフステージ別

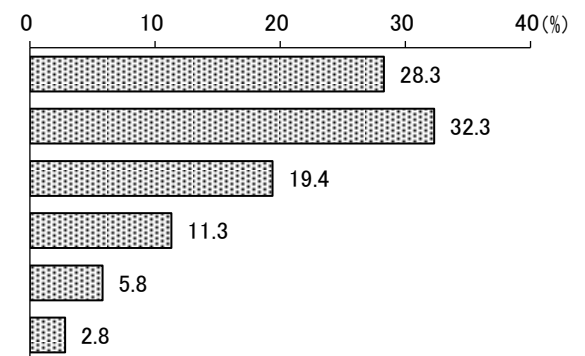
(1) 同居者（複数回答）

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 ひとり暮らし(なし)	329	301	28	28.3
2 子	364	346	17	31.3
3 妻または夫	566	536	29	48.7
4 親	134	134	-	11.5
5 祖父母	13	13	-	1.1
6 孫	19	19	-	1.6
7 兄弟姉妹	67	67	-	5.8
8 その他	52	42	10	4.5
(無回答)	24	22	-	2.1
合計 (回答者数)	1,163	1,092	68	100.0



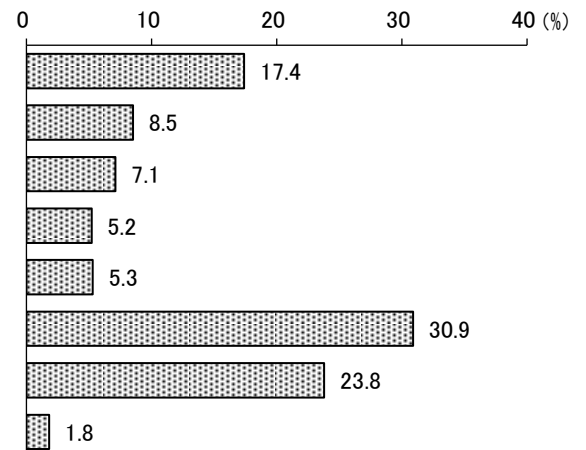
(2) 居住者数

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 ひとり暮らし	329	301	28	28.3
2 2人	376	354	22	32.3
3 3人	226	220	6	19.4
4 4人	131	124	7	11.3
5 5人以上	68	62	5	5.8
(無回答)	33	31	-	2.8
合計	1,163	1,092	68	100.0



(3) ライフステージ別

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 独身期	202	169	33	17.4
2 家族形成期	99	92	7	8.5
3 家族成長前期	83	77	6	7.1
4 家族成長後期	60	56	4	5.2
5 家族成熟期	62	59	2	5.3
6 高齢期	359	355	4	30.9
7 その他	277	265	12	23.8
(無回答)	21	19	-	1.8
合計	1,163	1,092	68	100.0



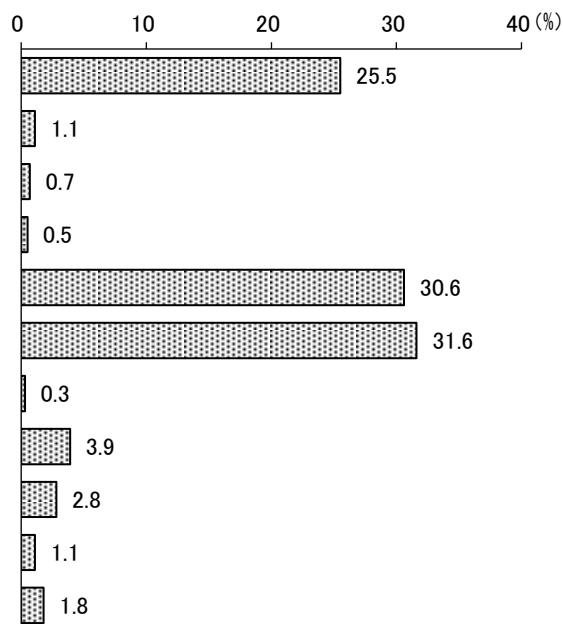
(注) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

- 独身期…………… 40歳未満の独身者
- 家族形成期…………… 子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
- 家族成長前期…………… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 家族成長後期…………… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 家族成熟期…………… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 高齢期…………… 65歳以上の人
- その他…………… 40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

7 住居の形態別

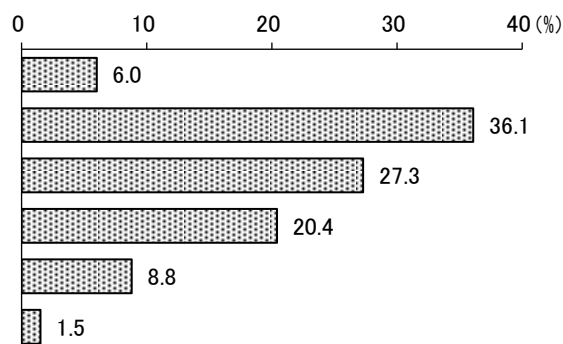
(1) 住居の形態

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 持ち家の一戸建て	297	295	2	25.5
2 賃貸の一戸建て	13	11	2	1.1
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	8	7	1	0.7
4 その他の一戸建て	6	6	-	0.5
5 分譲マンション・アパート	356	343	13	30.6
6 賃貸マンション・アパート	368	323	44	31.6
7 賃貸のUR都市機構・ 公社のマンション・アパート	4	3	1	0.3
8 賃貸の都営・区営住宅	45	45	-	3.9
9 社宅・公務員官舎	32	32	-	2.8
10 その他の集合住宅	13	9	4	1.1
(無回答)	21	18	1	1.8
合計	1,163	1,092	68	100.0



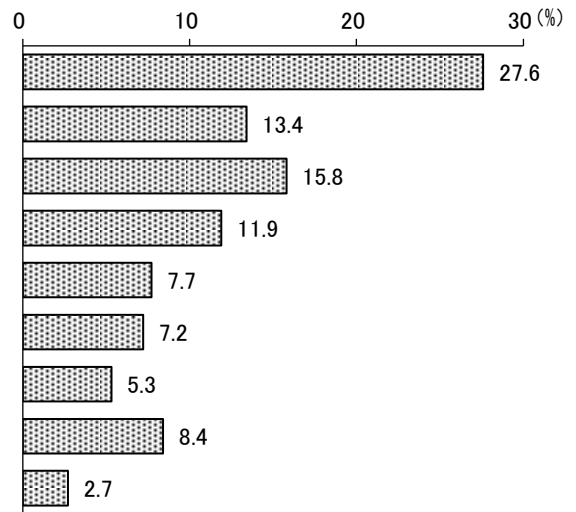
(2) 集合住宅の階数

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 1～2階	49	44	5	6.0
2 3～5階	295	266	28	36.1
3 6～10階	223	209	14	27.3
4 11～14階	167	160	7	20.4
5 15階以上	72	66	6	8.8
(無回答)	12	10	2	1.5
合計	818	755	62	100.0



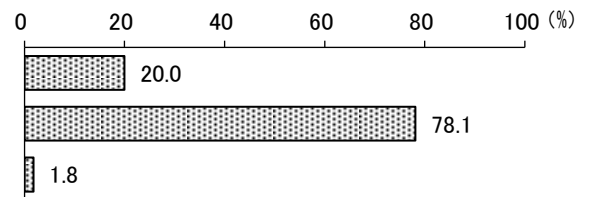
(3) 集合住宅の総戸数

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 20戸以下	226	209	17	27.6
2 21～30戸	110	101	9	13.4
3 31～50戸	129	120	8	15.8
4 51～75戸	97	88	9	11.9
5 76～100戸	63	54	9	7.7
6 101～150戸	59	56	3	7.2
7 151～200戸	43	41	2	5.3
8 201戸以上	69	66	3	8.4
(無回答)	22	20	2	2.7
合計	818	755	62	100.0



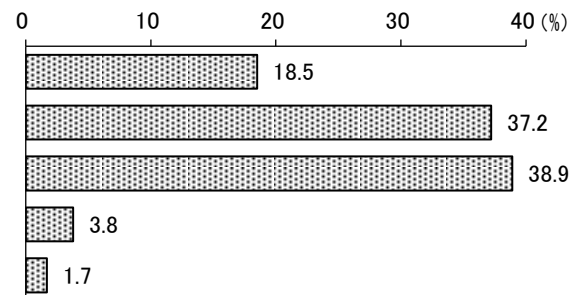
(4) 全戸ワンルームタイプの集合住宅

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 はい	164	141	23	20.0
2 いいえ	639	600	39	78.1
(無回答)	15	14	-	1.8
合計	818	755	62	100.0



(5) 集合住宅の管理人体制

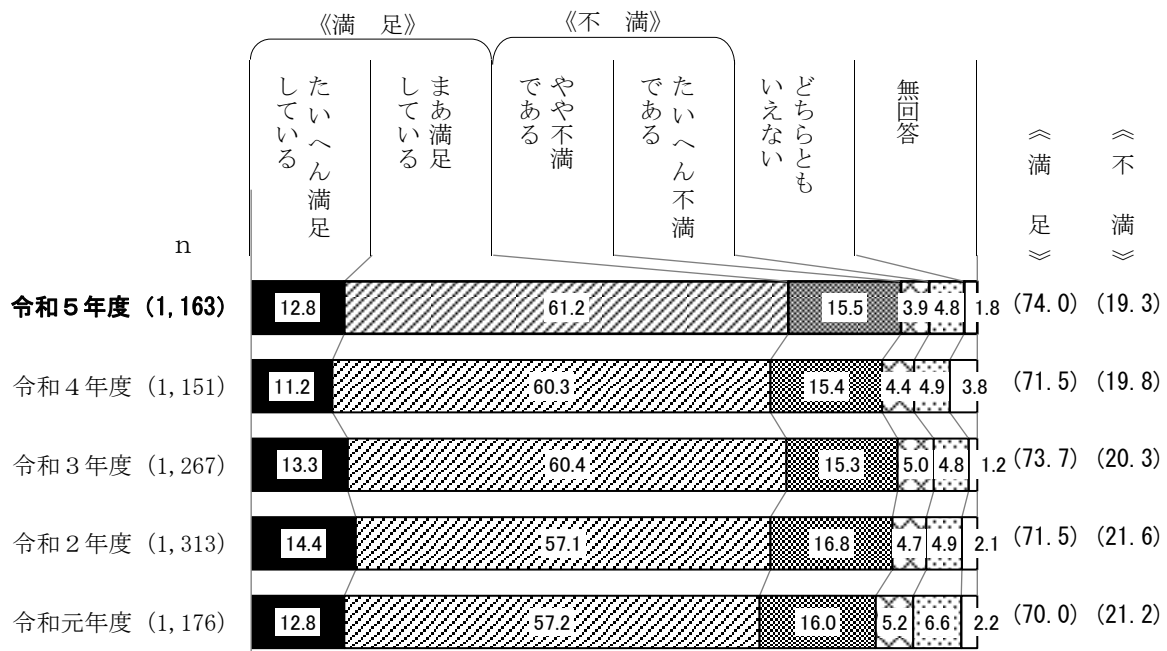
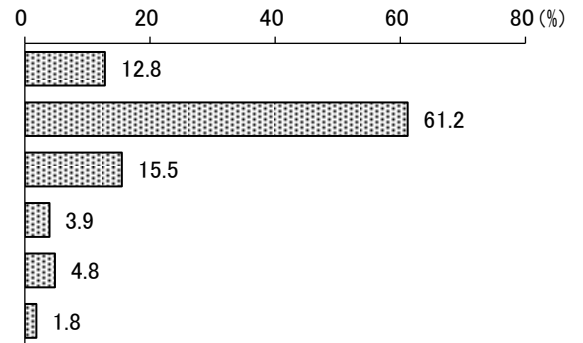
	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 24時間常駐している	151	139	12	18.5
2 昼間のみ常駐している	304	278	26	37.2
3 常駐していない	318	298	19	38.9
4 その他	31	26	5	3.8
(無回答)	14	14	-	1.7
合計	818	755	62	100.0



8 暮らし向き別

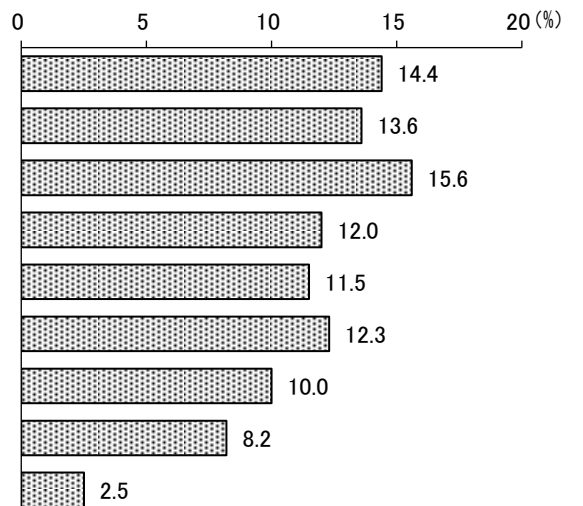
(1) 満足度

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 たいへん満足している	149	137	11	12.8
2 まあ満足している	712	675	37	61.2
3 やや不満である	180	166	13	15.5
4 たいへん不満である	45	44	1	3.9
5 どちらともいえない	56	51	5	4.8
(無回答)	21	19	1	1.8
合計	1,163	1,092	68	100.0



(2) 世帯収入

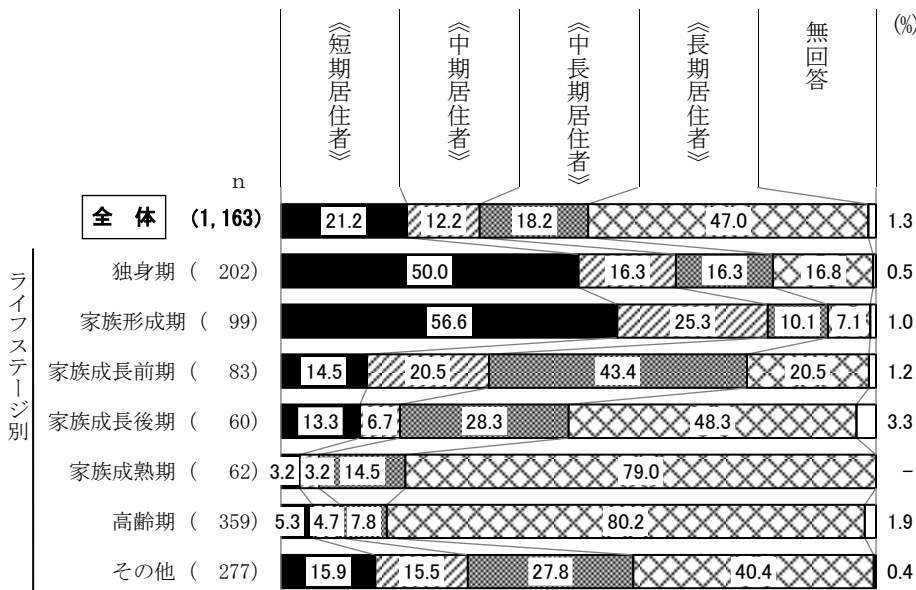
	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 200万円未満	167	157	10	14.4
2 200万円～300万円未満	158	149	9	13.6
3 300万円～500万円未満	181	164	16	15.6
4 500万円～700万円未満	140	133	7	12.0
5 700万円～1,000万円未満	134	129	5	11.5
6 1,000万円～1,500万円未満	143	138	5	12.3
7 1,500万円以上	116	113	3	10.0
8 わからない	95	84	11	8.2
(無回答)	29	25	2	2.5
合計	1,163	1,092	68	100.0



1 居住意向

◆20年以上の《長期居住者》が4割台半ばを超えています。

区での居住年数は、「1年未満」(4.6%)と「1年以上3年未満」(11.3%)、「3年以上5年未満」(5.4%)をあわせた《短期居住者》(21.2%)が2割強、「5年以上10年未満」の《中期居住者》(12.2%)が1割強、「10年以上20年未満」の《中長期居住者》(18.2%)は2割近くです。最も高いのは、「20年以上30年未満」(12.6%)と「30年以上」(34.5%)をあわせた《長期居住者》(47.0%)で、4割台半ばを超えています。

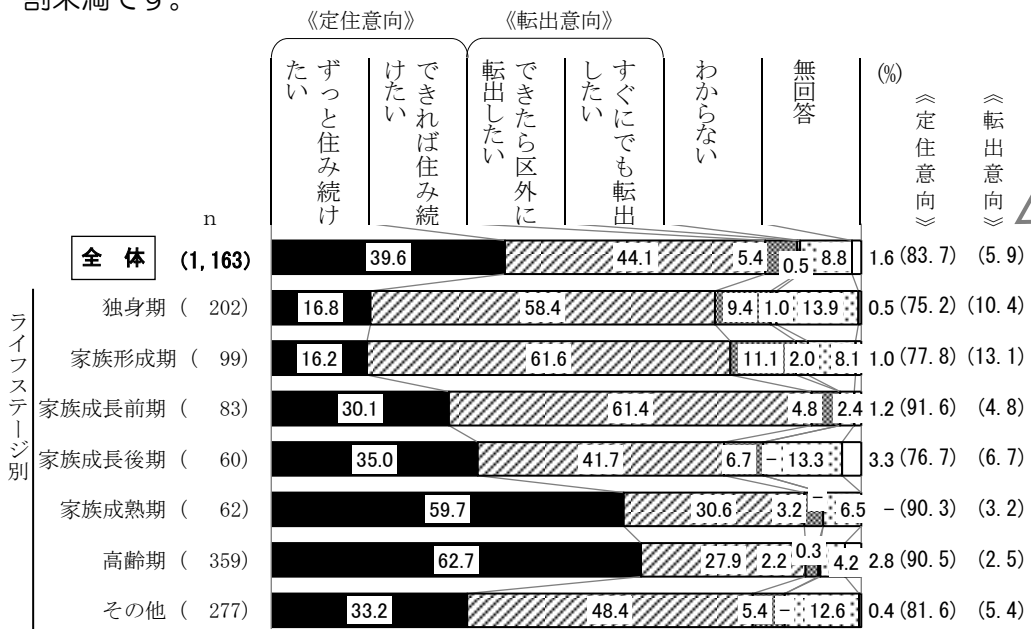


【ライフステージ別】でみると
 《短期居住者》は独身期と家族形成期が5割台です。《中期居住者》は家族形成期と家族成長前期が2割台で高くなっています。《中長期居住者》は家族成長前期が4割台半ば近くで最も高く、次いで家族成長後期が3割近くとなっています。《長期居住者》は家族形成期が1割未満となっており、それ以降ライフステージが進むほど増加し、高齢期が約8割で最も高くなっています。また、その他でも約4割を占めています。

(注) ライフステージ別の区分については、8ページを参照。

◆「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」をあわせた《定住意向》が8割台半ば近くとなっています。

定住・転出意向は、「ずっと住み続けたい」(39.6%)と「できれば住み続けたい」(44.1%)をあわせた《定住意向》(83.7%)が8割台半ば近くとなっています。一方、「できれば住み続けたい」(5.4%)と「すぐにでも転出したい」(0.5%)をあわせた《転出意向》(5.9%)は1割未満です。

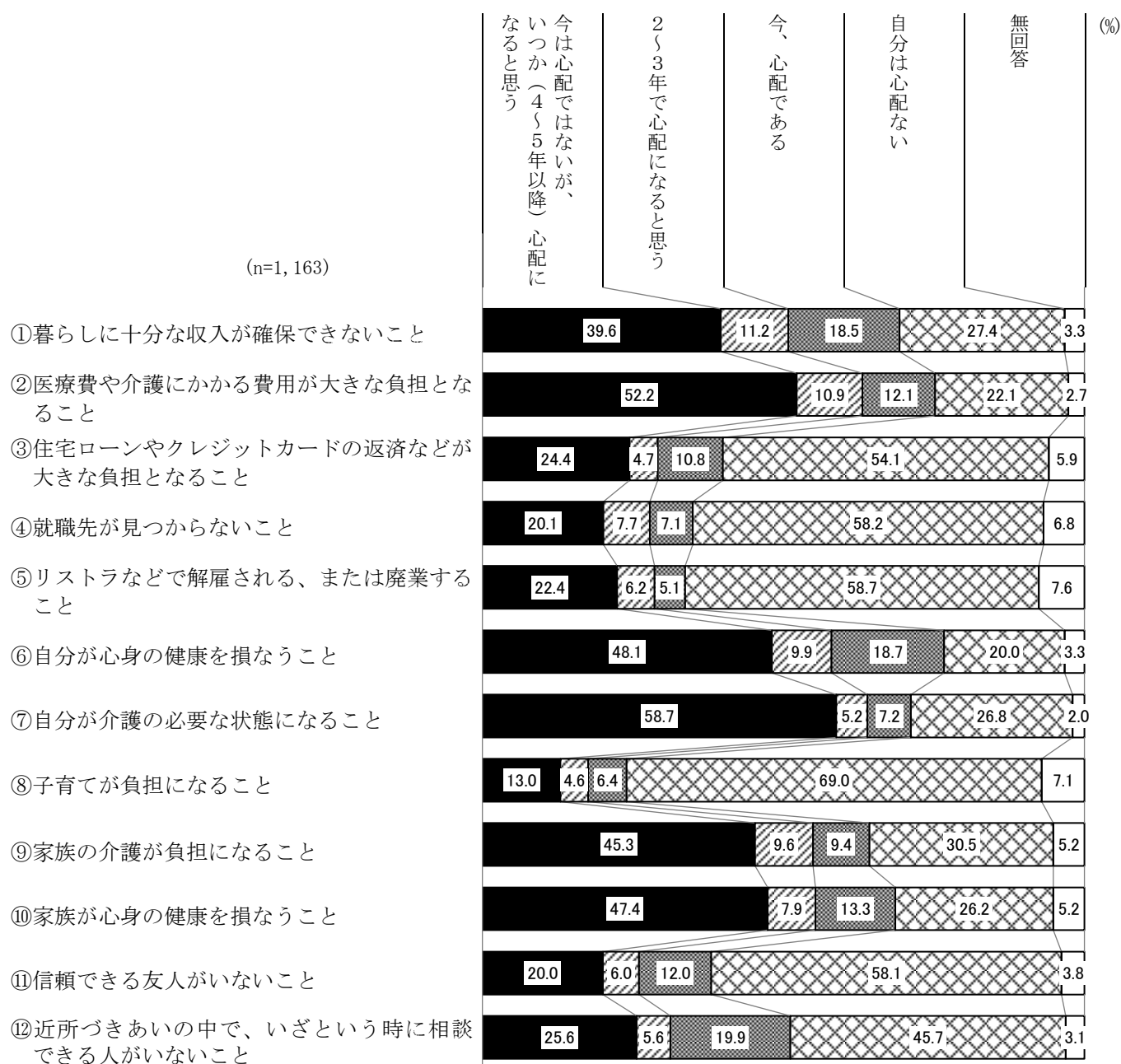


【ライフステージ別】でみると
 《定住意向》は独身期、家族形成期、家族成長後期で7割台となっています。家族成長前期、家族成熟期、高齢期では9割以上と高くなっています。高齢期は「ずっと住み続けたい」も6割強で他層に比べ高くなっています。一方、《転出意向》は家族形成期が1割台半ば近くで最も高く、次いで独身期が約1割で続いています。

② 生活における心配事

- ◆「今は心配ではないが、いつか（4～5年以降）は心配になると思う」は、『自分が介護の必要な状態になること』が6割近くで最も高く、『医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること』が5割強で続いています。

生活における心配事で、「今は心配ではないが、いつか（4～5年以降）は心配になると思う」は“⑦自分が介護の必要な状態になること”（58.7%）が6割近くで最も高く、次いで“②医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること”（52.2%）が5割強、“⑥自分が心身の健康を損なうこと”（48.1%）が5割近くとなっています。「今、心配である」は“⑫近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”（19.9%）が2割弱で最も高く、次いで“⑥自分が心身の健康を損なうこと”（18.7%）、“①暮らしに十分な収入が確保できないこと”（18.5%）が2割近くで続いています。一方、「自分は心配ない」は“⑧子育てが負担になること”（69.0%）が7割弱で最も高くなっています。

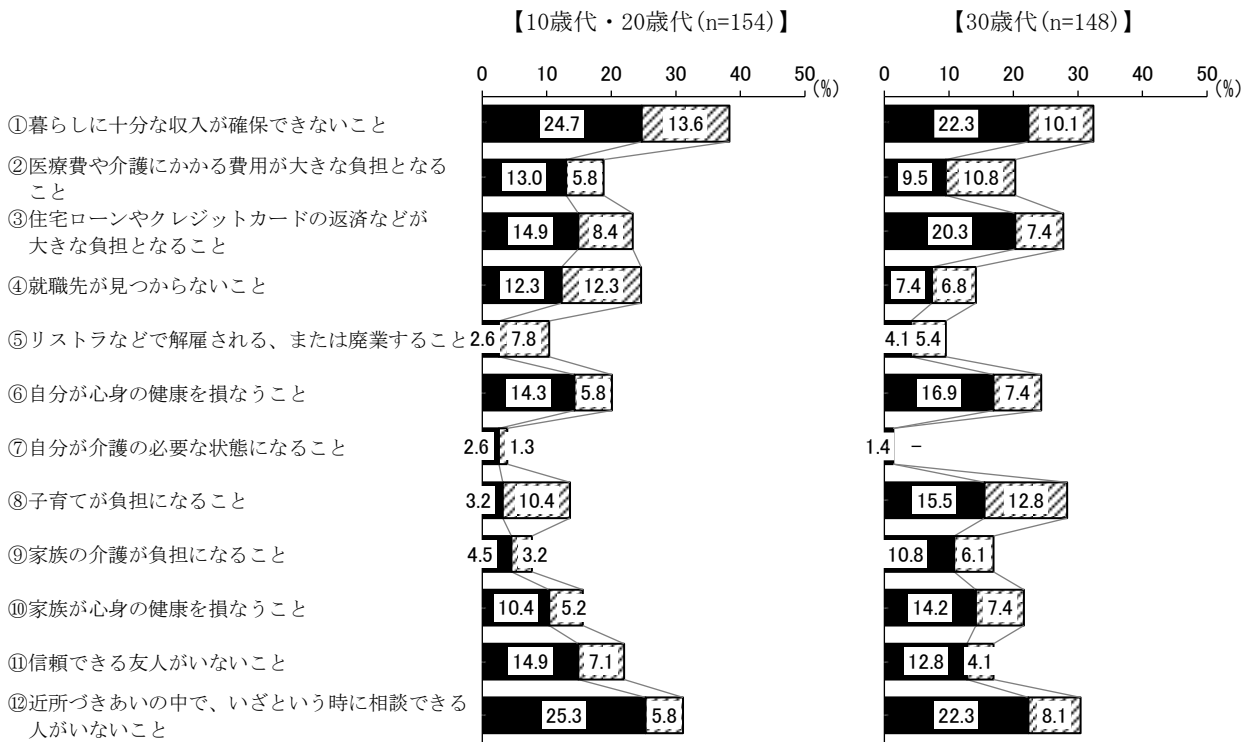
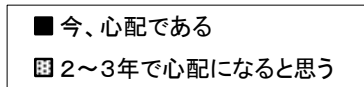


【年代別】でみると

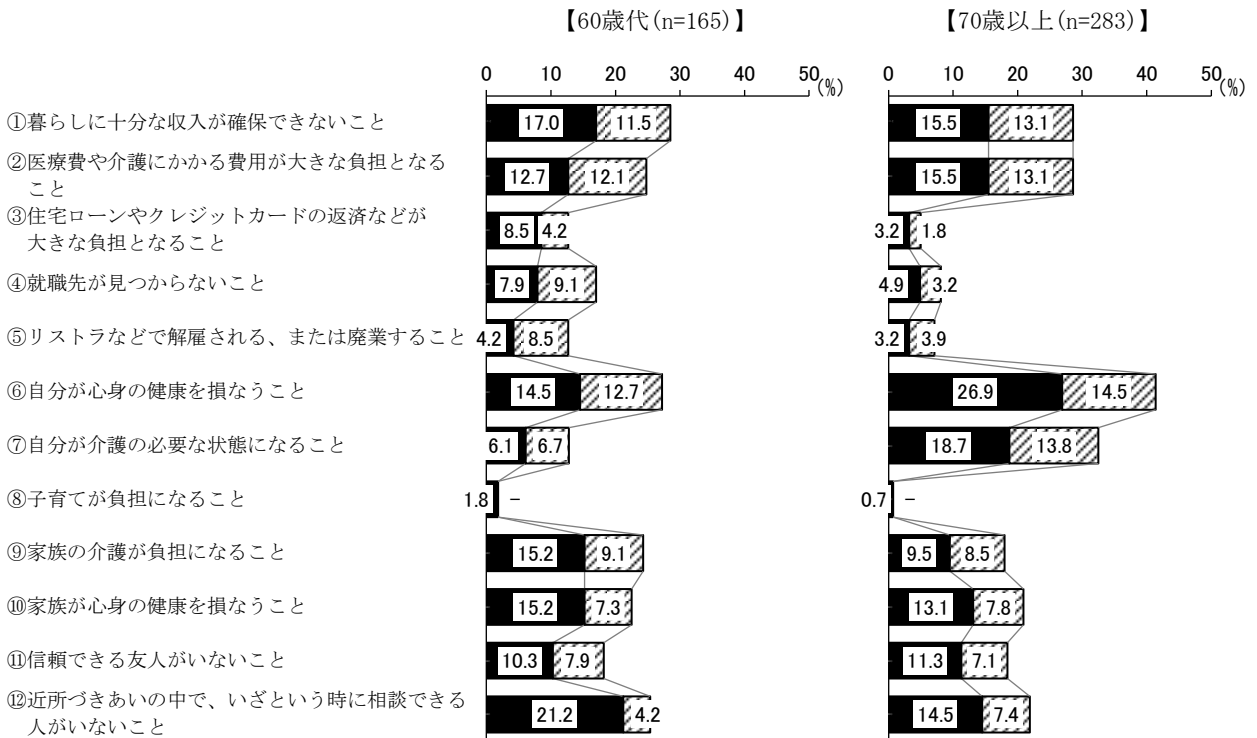
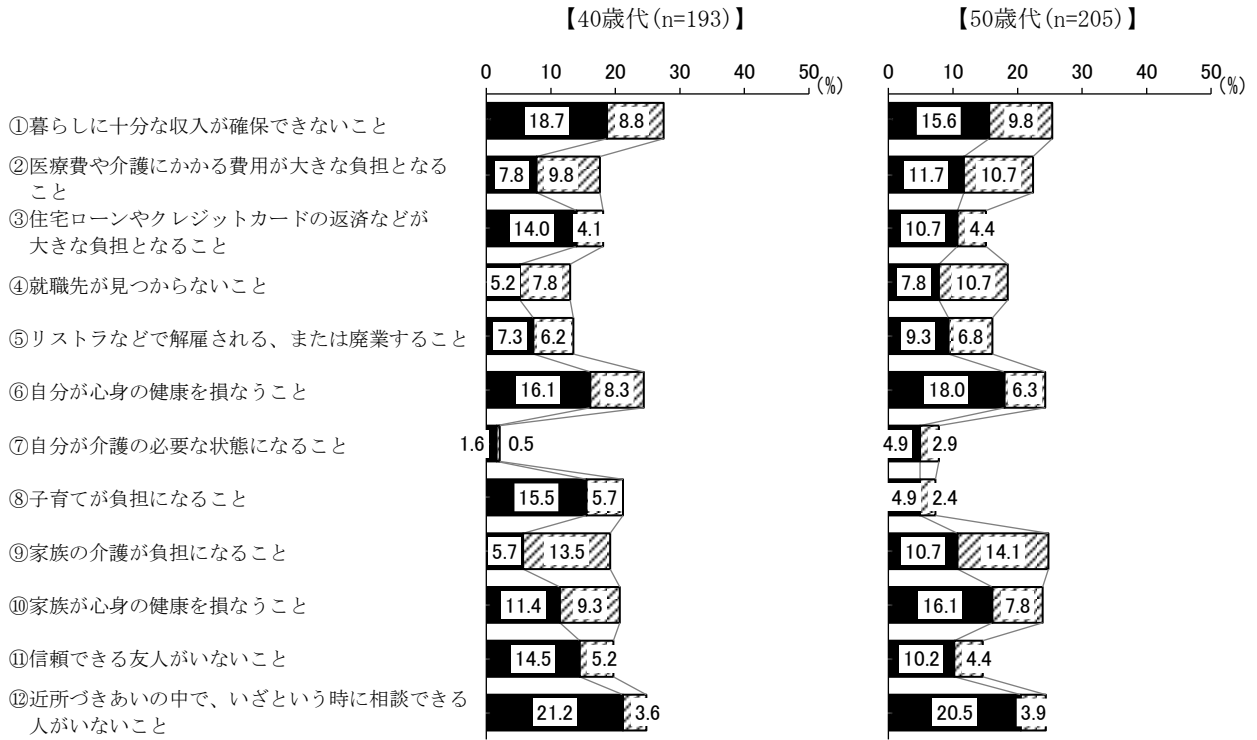
「今、心配である」は、“⑫近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”と“①暮らしに十分な収入が確保できないこと”が、10歳代～30歳代で2割台となっていますが、年代が高くなるに連れ減少する傾向にあり、70歳以上では1割台半ば前後となっています。

“⑥自分が心身の健康を損なうこと”は70歳以上で2割台半ばを超えています。

「2～3年で心配になると思う」は、“⑦自分が介護の必要な状態になること”が50歳代から高くなり始め、70歳以上で1割台半ば近くとなっています。10歳代・20歳代は“①暮らしに十分な収入が確保できないこと”、30歳代は“⑧子育てが負担になること”、40歳代～50歳代は“⑨家族の介護が負担になること”、60歳以上は“⑥自分が心身の健康を損なうこと”が最も高くなっています。



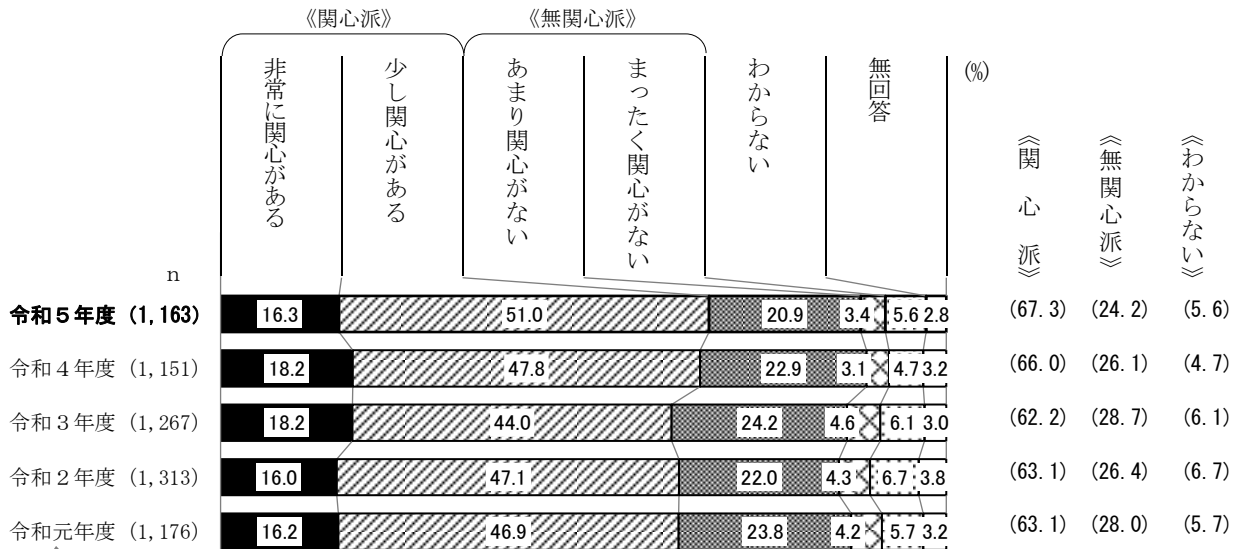
■ 今、心配である
 ▨ 2～3年で心配になると思う



③ 区政への関心

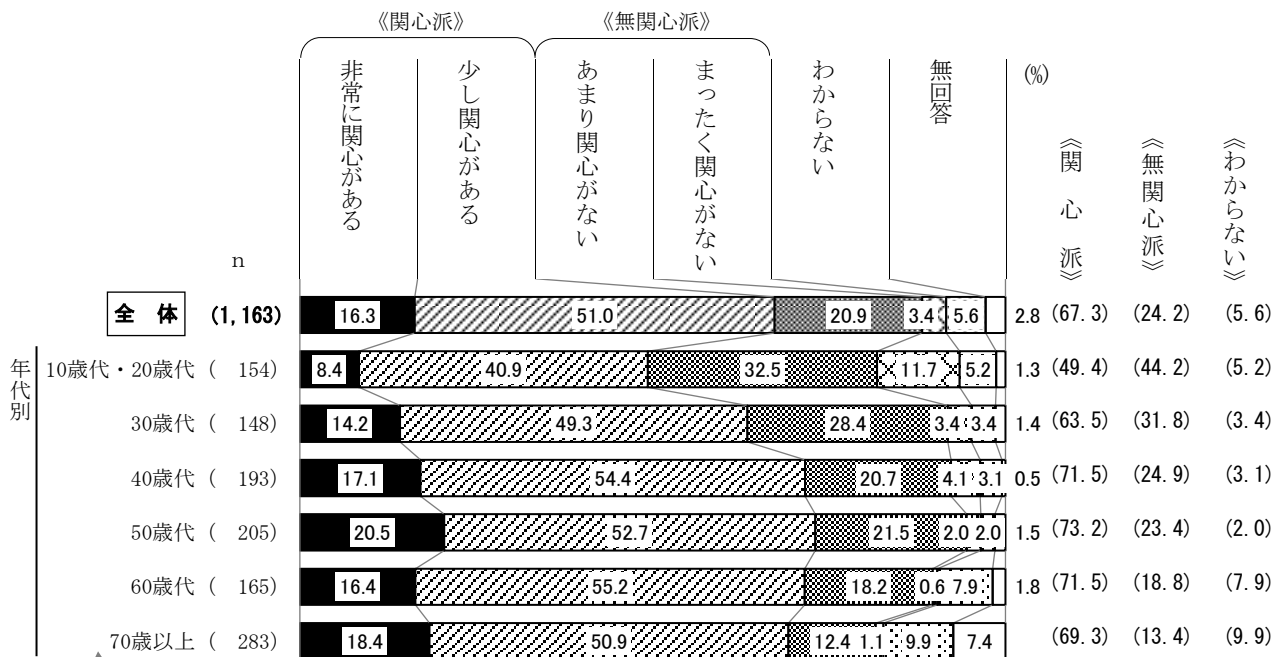
- ◆「非常に関心がある」「少し関心がある」をあわせた《関心派》が6割台半ばを超え、「あまり関心がない」「まったく関心がない」をあわせた《無関心派》が2割台半ば近くとなっています。

区政への関心度は、区政に積極的に関心を示す「非常に関心がある」(16.3%)と「少し関心がある」(51.0%)をあわせた《関心派》(67.3%)が6割台半ばを超えています。一方、「あまり関心がない」(20.9%)と「まったく関心がない」(3.4%)をあわせた《無関心派》(24.2%)は2割台半ば近くとなっています。



【時系列比較】でみると

令和元年度以降の調査結果を時系列で見ると、《関心派》は令和4年度から1.3ポイント増加し5年間で最も高く、《無関心派》は令和4年度より1.9ポイント減少し最も低くなっています。



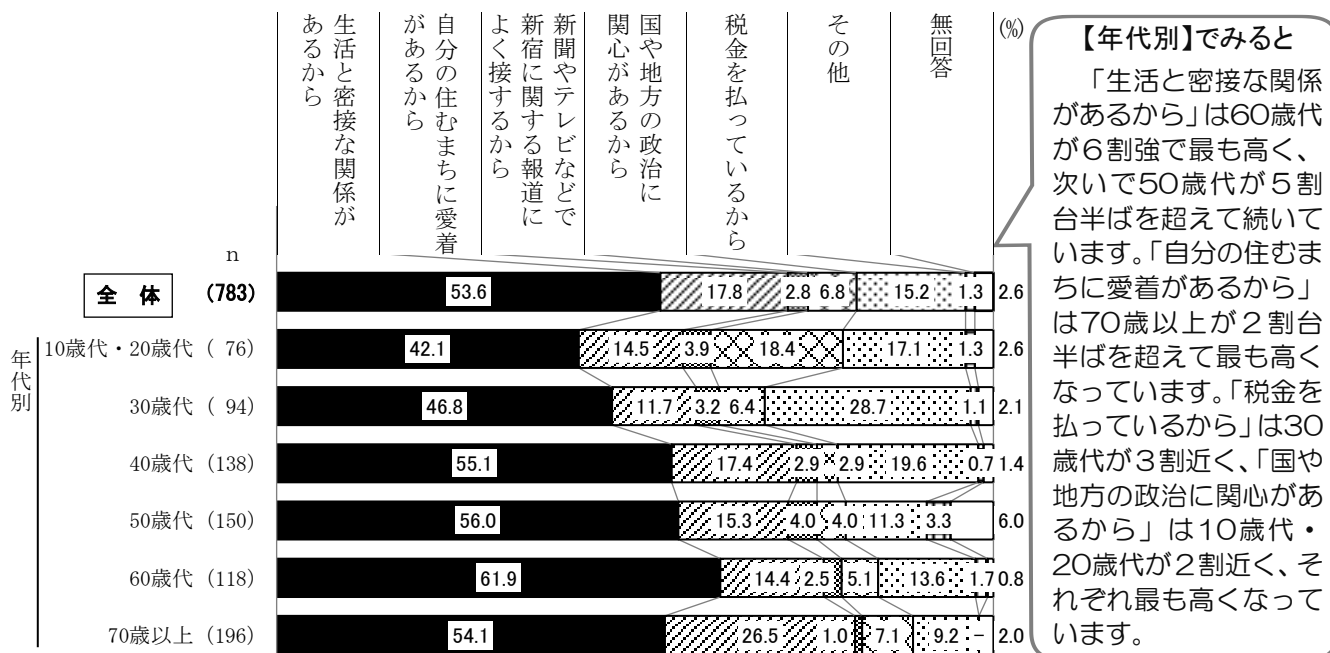
【年代別】でみると

《関心派》は50歳代が7割台半ば近くで最も高く、次いで40歳代と60歳代が7割強、70歳以上が7割弱で続いています。

《無関心派》は10歳代・20歳代が4割台半ば近くで最も高く、次いで30歳代が3割強で続いています。

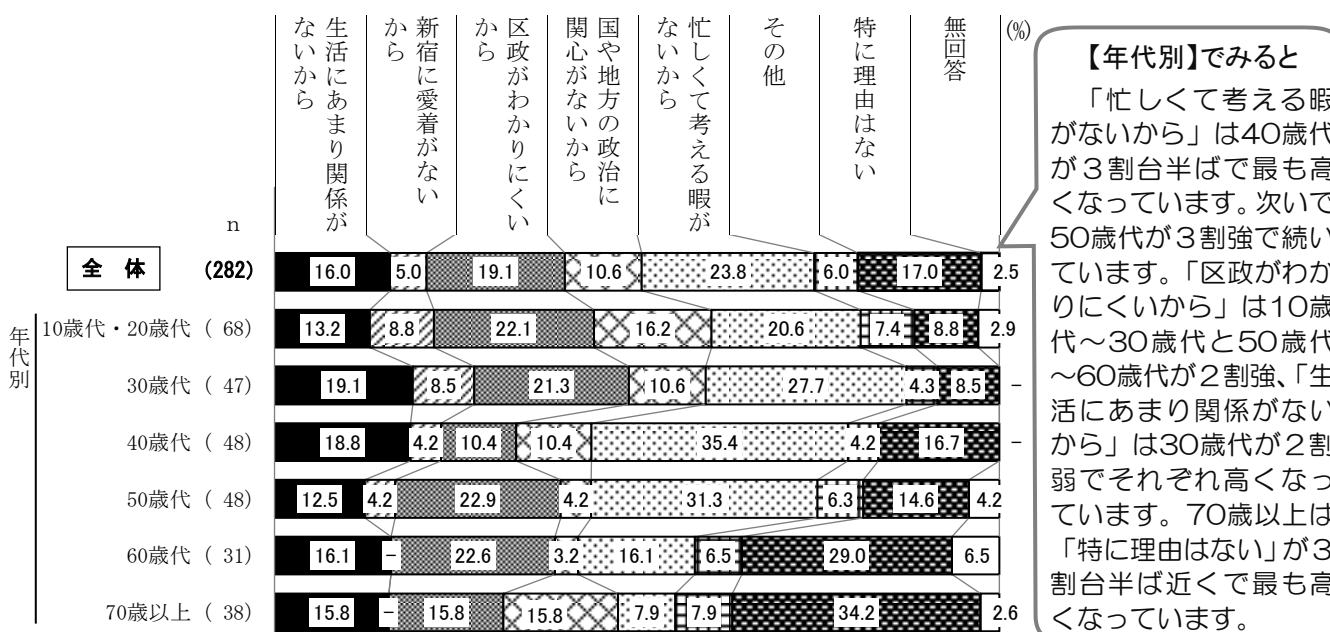
◆ 《関心派》の理由は、「生活と密接な関係があるから」が5割台半ば近くで最も高くなっています。

《関心派》だった人にその理由をたずねたところ、「生活と密接な関係があるから」(53.6%)が5割台半ば近くで最も高くなっています。次いで「自分の住むまちに愛着があるから」(17.8%)が1割台半ばを超え、「税金を払っているから」(15.2%)が1割台半ばで続いています。



◆ 《無関心派》の理由は、「忙しくて考える暇がないから」が2割台半ば近くで最も高く、「区政がわかりにくいから」が2割弱で続いています。

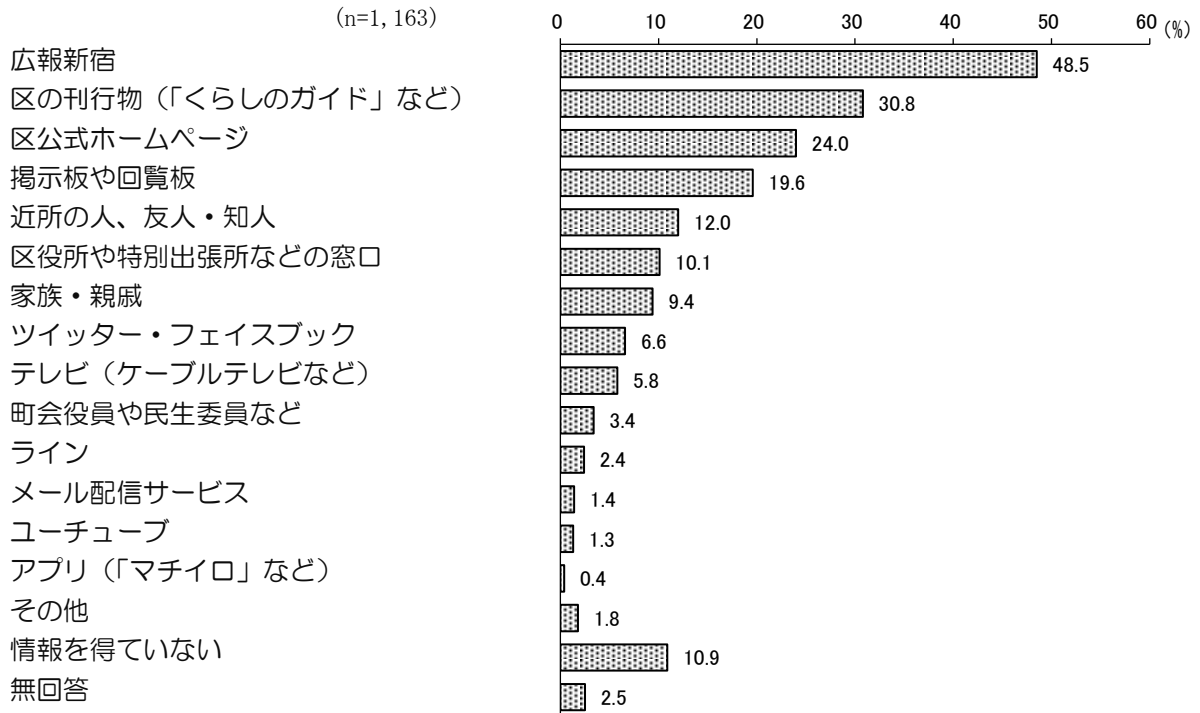
《無関心派》だった人にその理由をたずねたところ、「忙しくて考える暇がないから」(23.8%)が2割台半ば近くで最も高くなっています。次いで「区政がわかりにくいから」(19.1%)が2割弱、「生活にあまり関係がないから」(16.0%)が1割台半ばを超えて続いています。



4 区政情報の入手方法

- ◆「広報新宿」が5割近くで最も高く、「区の刊行物」が約3割で続いています。

区の行政サービスの情報取得手段は、「広報新宿」（48.5%）が5割近くで最も高く、次いで「区の刊行物」（30.8%）が約3割、「区公式ホームページ」（24.0%）が2割台半ば近くで続いています。



【年代別】でみると(上位5項目)

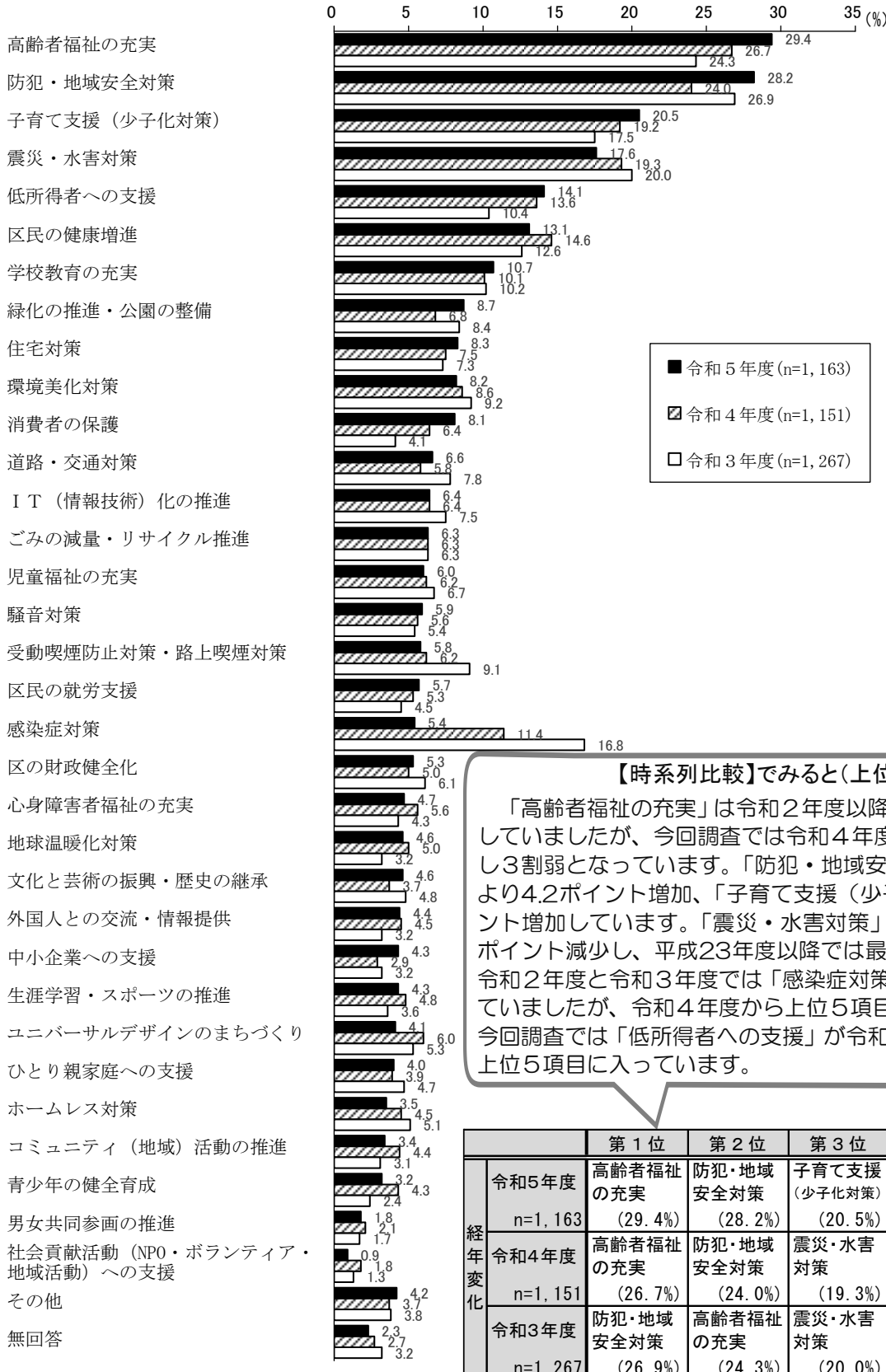
「広報新宿」と「区の刊行物」は年代が上がるにつれ高くなる傾向があり、「広報新宿」は70歳以上で7割強、「区の刊行物」は60歳代で4割近くと最も高くなっています。「区公式ホームページ」は50歳代が3割台半ば、「掲示板や回覧板」は70歳以上が3割弱で最も高くなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
	広報新宿	区の刊行物（「くらしのガイド」など）	区公式ホームページ	掲示板や回覧板	近所の人、友人・知人	
全体 n=1,163	48.5%	30.8%	24.0%	19.6%	12.0%	
年代別	10・20歳代 n=154	17.5%	19.5%	24.7%	17.5%	7.8%
	30歳代 n=148	23.0%	25.0%	29.1%	16.2%	8.8%
	40歳代 n=193	41.5%	26.4%	28.5%	15.5%	8.8%
	50歳代 n=205	51.7%	30.2%	35.6%	12.7%	15.6%
	60歳代 n=165	63.6%	38.8%	24.8%	19.4%	13.3%
	70歳以上 n=283	71.0%	38.5%	9.2%	29.7%	14.8%

5 区政への要望

◆「高齢者福祉の充実」が3割弱で最も高く、「防犯・地域安全対策」が3割近くで続いています。

施策への要望としては、「高齢者福祉の充実」(29.4%)が3割弱で最も高く、次いで「防犯・地域安全対策」(28.2%)が3割近くとなっています。以下、「子育て支援(少子化対策)」(20.5%)、「震災・水害対策」(17.6%)、「低所得者への支援」(14.1%)の順で続いています。



【時系列比較】でみると(上位5項目)

「高齢者福祉の充実」は令和2年度以降2割台半ば前後で推移していましたが、今回調査では令和4年度から2.7ポイント増加し3割弱となっています。「防犯・地域安全対策」は令和4年度より4.2ポイント増加、「子育て支援(少子化対策)」は1.3ポイント増加しています。「震災・水害対策」は令和4年度より1.7ポイント減少し、平成23年度以降では最も低くなっています。令和2年度と令和3年度では「感染症対策」が上位5項目に入っていましたが、令和4年度から上位5項目未満となっています。今回調査では「低所得者への支援」が令和元年度以来4年ぶりに上位5項目に入っています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
経年変化	令和5年度 n=1,163	高齢者福祉の充実 (29.4%)	防犯・地域安全対策 (28.2%)	子育て支援(少子化対策) (20.5%)	震災・水害対策 (17.6%)	低所得者への支援 (14.1%)
	令和4年度 n=1,151	高齢者福祉の充実 (26.7%)	防犯・地域安全対策 (24.0%)	震災・水害対策 (19.3%)	子育て支援(少子化対策) (19.2%)	区民の健康増進 (14.6%)
	令和3年度 n=1,267	防犯・地域安全対策 (26.9%)	高齢者福祉の充実 (24.3%)	震災・水害対策 (20.0%)	子育て支援(少子化対策) (17.5%)	感染症対策 (16.8%)

【ライフステージ別】でみると(上位5項目)

家族成長後期と高齢期で「高齢者福祉の充実」、家族成熟期とその他で「防犯・地域安全対策」、独身期と家族形成期で「子育て支援(少子化対策)」、家族成長前期で「学校教育の充実」がそれぞれ第1位となっています。特に高齢期の「高齢者福祉の充実」は6割近く、家族形成期の「子育て支援(少子化対策)」は7割強と高くなっています。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ライフ ス テ ー ジ 別	独身期 n=202	子育て支援(少子化対策) (24.8%)	防犯・地域安全対策 (21.8%)	低所得者への支援/震災・水害対策 (14.9%)	消費者の保護 (13.4%)	
	家族形成期 n=99	子育て支援(少子化対策) (71.7%)	学校教育の充実 (28.3%)	児童福祉の充実 (26.3%)	防犯・地域安全対策 (19.2%)	IT(情報技術)化の推進 (17.2%)
	家族成長前期 n=83	学校教育の充実 (51.8%)	子育て支援(少子化対策) (47.0%)	防犯・地域安全対策 (28.9%)	児童福祉の充実 (14.5%)	ひとり親家庭への支援/低所得者への支援/緑化の推進・公園の整備 (10.8%)
	家族成長後期 n=60	高齢者福祉の充実 (28.3%)	防犯・地域安全対策 (18.3%)	学校教育の充実 (16.7%)	子育て支援(少子化対策) (15.0%)	ひとり親家庭への支援/住宅対策/震災・水害対策/道路・交通対策 (13.3%)
	家族成熟期 n=62	防犯・地域安全対策 (37.1%)	高齢者福祉の充実 (32.3%)	震災・水害対策 (27.4%)	子育て支援(少子化対策) (16.1%)	区民の健康増進/区民の就労支援/住宅対策 (12.9%)
	高齢期 n=359	高齢者福祉の充実 (58.2%)	防犯・地域安全対策 (31.8%)	震災・水害対策 (17.5%)	低所得者への支援 (17.3%)	区民の健康増進 (16.4%)
	その他 n=277	防犯・地域安全対策 (32.5%)	高齢者福祉の充実 (27.8%)	震災・水害対策 (23.1%)	低所得者への支援 (16.2%)	区民の健康増進 (14.4%)

(注) 同率のものは、同一順位として併記している。

【居住地域別】でみると(上位5項目)

「高齢者福祉の充実」は角筈・区役所を除いた全ての地域で第2位までに入っており、この内5地域で第1位です。「防犯・地域安全対策」は全ての地域で第2位までに入っており、この内5地域で第1位です。「子育て支援(少子化対策)」は7地域で第3位となっています。

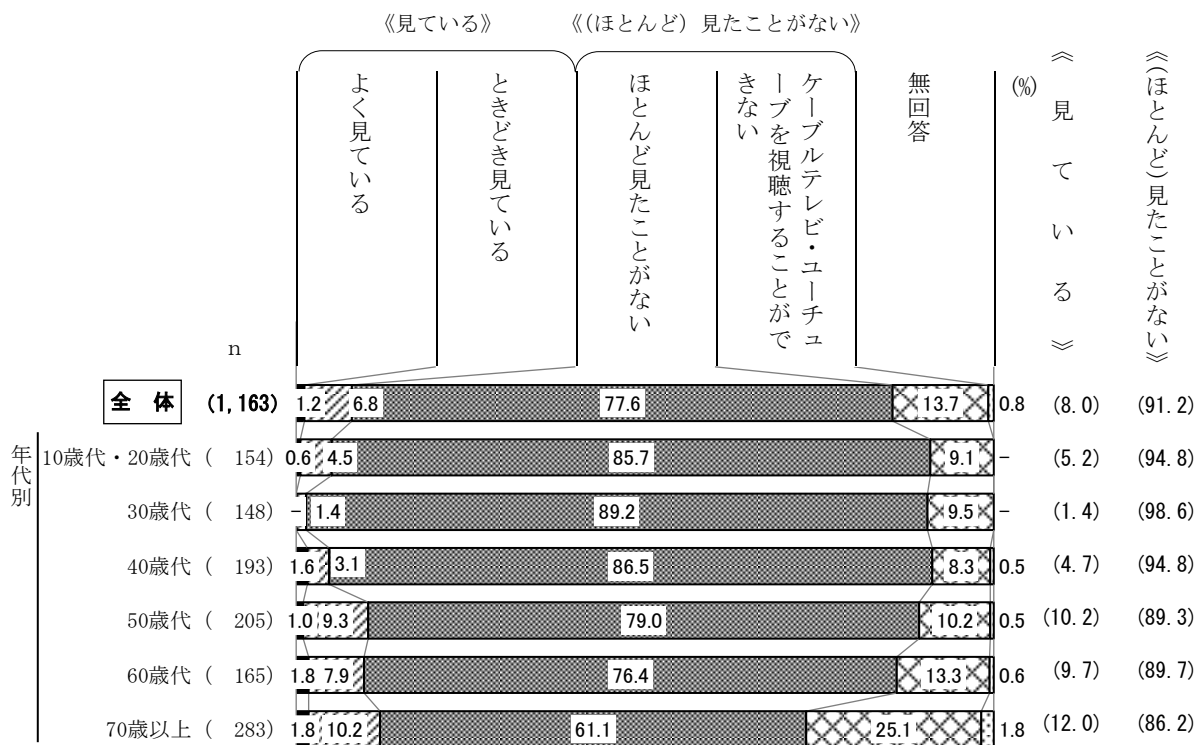
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
居住 地 域 別	四谷 n=139	高齢者福祉の充実 (35.3%)	防犯・地域安全対策 (24.5%)	子育て支援(少子化対策) (20.1%)	震災・水害対策 (17.3%)	低所得者への支援 (12.2%)
	簞笥町 n=155	高齢者福祉の充実 (31.0%)	防犯・地域安全対策 (26.5%)	子育て支援(少子化対策) (25.2%)	震災・水害対策 (21.9%)	区民の健康増進 (17.4%)
	榎町 n=122	防犯・地域安全対策 (30.3%)	高齢者福祉の充実 (26.2%)	子育て支援(少子化対策) (25.4%)	震災・水害対策 (17.2%)	低所得者への支援 (13.9%)
	若松町 n=113	高齢者福祉の充実 (31.9%)	防犯・地域安全対策 (30.1%)	震災・水害対策 (20.4%)	低所得者への支援 (15.0%)	子育て支援(少子化対策)/学校教育の充実 (11.5%)
	大久保 n=122	防犯・地域安全対策 (32.0%)	高齢者福祉の充実 (26.2%)	子育て支援(少子化対策) (22.1%)	低所得者への支援 (18.0%)	区民の健康増進 (13.9%)
	戸塚 n=126	高齢者福祉の充実 (34.1%)	防犯・地域安全対策 (27.0%)	震災・水害対策 (22.2%)	低所得者への支援 (18.3%)	子育て支援(少子化対策) (15.1%)
	落合第一 n=100	高齢者福祉の充実 (34.0%)	防犯・地域安全対策 (26.0%)	子育て支援(少子化対策) (24.0%)	区民の健康増進/震災・水害対策 (18.0%)	
	落合第二 n=122	防犯・地域安全対策 (30.3%)	高齢者福祉の充実 (26.2%)	子育て支援(少子化対策) (23.8%)	低所得者への支援 (18.0%)	震災・水害対策 (13.9%)
	柏木 n=87	防犯・地域安全対策 (33.3%)	高齢者福祉の充実 (25.3%)	震災・水害対策 (17.2%)	子育て支援(少子化対策) (14.9%)	騒音対策 (13.8%)
	角筈・区役所 n=56	防犯・地域安全対策 (25.0%)	低所得者への支援 (19.6%)	子育て支援(少子化対策)/消費者の保護 (16.1%)	高齢者福祉の充実/学校教育の充実/震災・水害対策/環境美化対策 (14.3%)	

(注) 同率のものは、同一順位として併記している。

⑥ 区政情報の発信

◆広報番組の視聴は、「よく見ている」「ときどき見ている」をあわせた《見ている》が1割近く、「ほとんど見たことがない」「ケーブルテレビ・YouTubeを視聴することができない」をあわせた《(ほとんど) 見たことがない》が9割強となっています。

広報番組の視聴は、「よく見ている」(1.2%)と「ときどき見ている」(6.8%)をあわせた《見ている》(8.0%)が1割近くです。一方、「ほとんど見たことがない」(77.6%)と「ケーブルテレビ・YouTubeを視聴することができない」(13.7%)をあわせた《(ほとんど) 見たことがない》(91.2%)は9割強となっています。



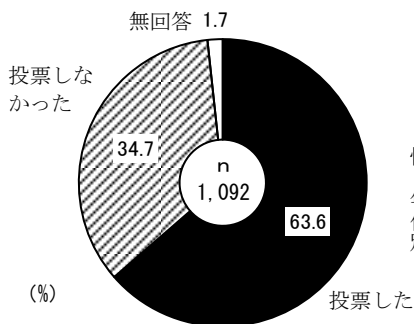
【年代別】でみると

50歳代以上で《見ている》が1割前後と他層より高くなっています。

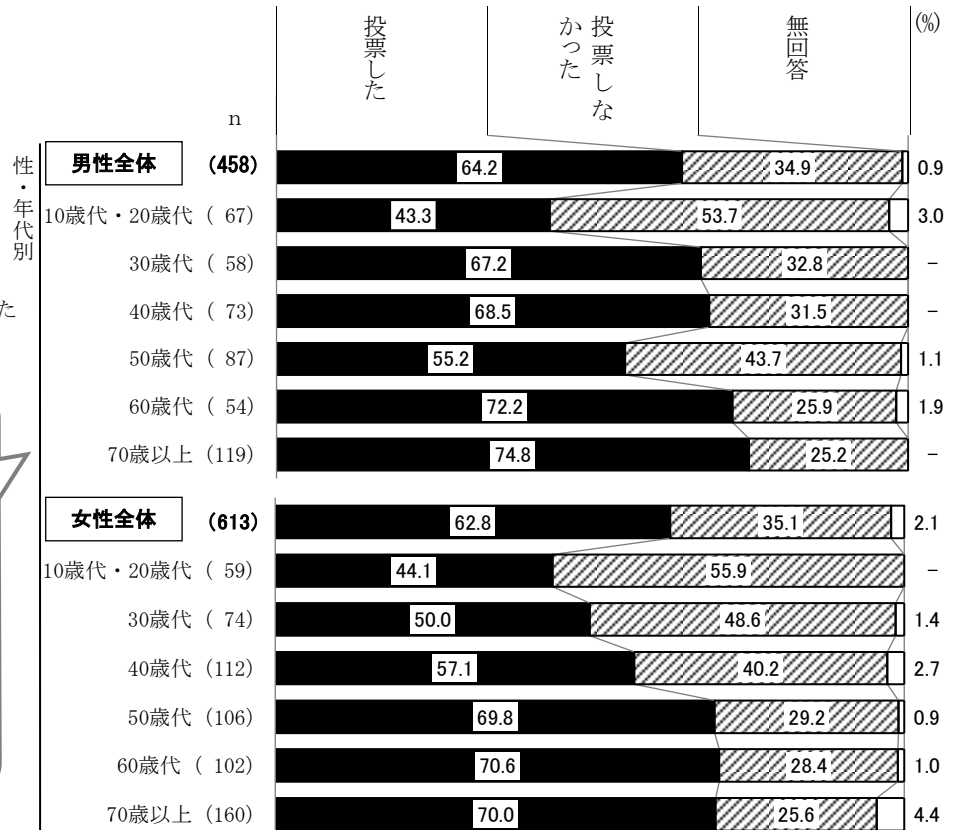
7 選挙

◆「投票した」が6割台半ば近く、「投票しなかった」が3割台半ば近くとなっています。

新宿区議会議員選挙の投票の有無は、「投票した」(63.6%)が6割台半ば近くです。一方、「投票しなかった」(34.7%)は3割台半ば近くとなっています。

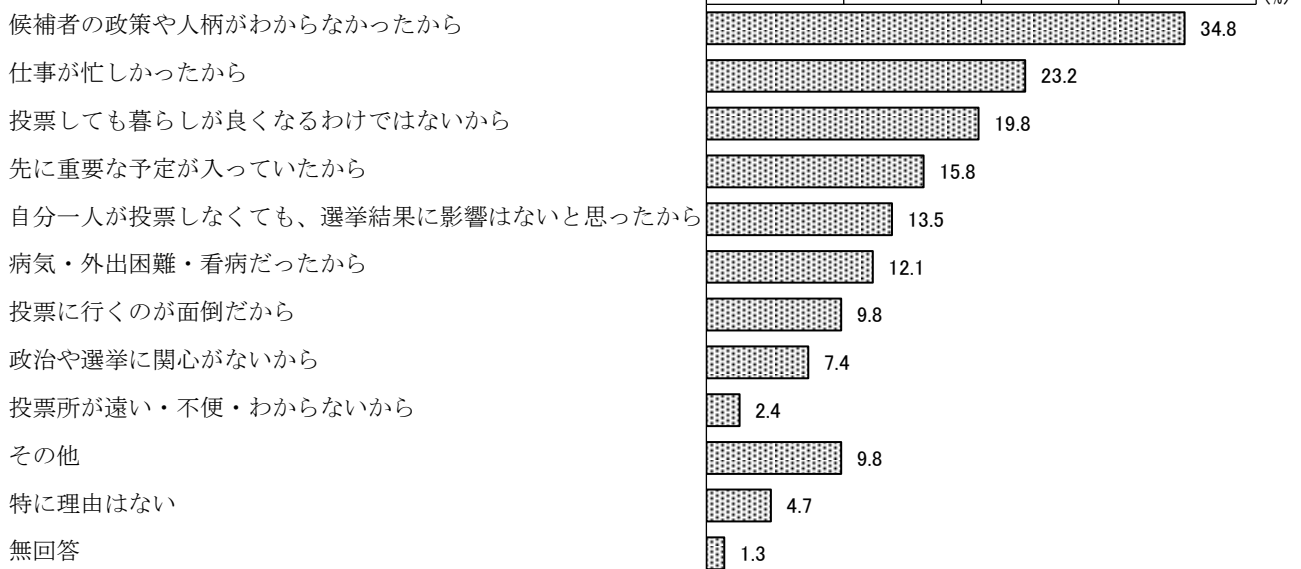


【性・年代別】でみると
 「投票した」は男性の70歳以上が7割台半ば近くで最も高く、次いで男性の60歳代が7割強で続いています。
 一方、「投票しなかった」は女性の10歳代・20歳代で5割台半ば、男性の10歳代・20歳代で5割台半ば近くと高くなっています。



◆「投票しなかった」理由は、「候補者の政策や人柄がわからなかったから」が3割台半ば近くで最も高くなっています。

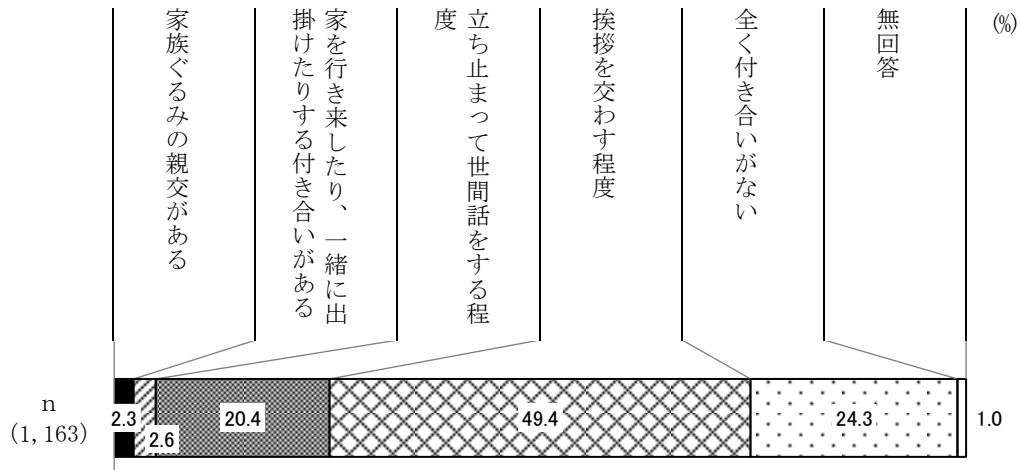
「投票しなかった」理由をたずねたところ、「候補者の政策や人柄がわからなかったから」(34.8%)が3割台半ば近くで最も高くなっています。次いで、「仕事が忙しかったから」(23.2%)が2割台半ば近く、「投票しても暮らしが良くなるわけではないから」(19.8%)が2割弱で続いています。(n=379)



⑧ 町会・自治会と地域活動

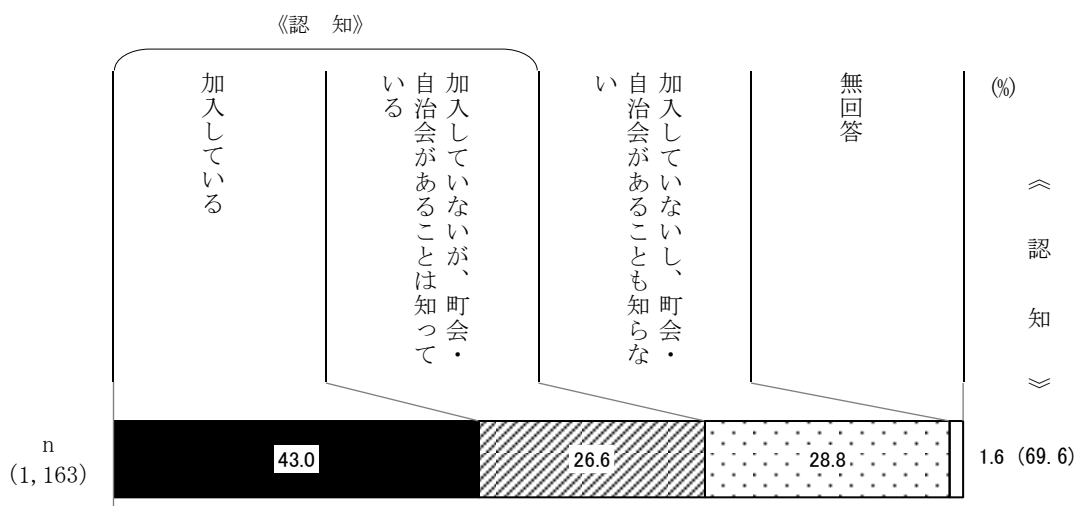
◆ご近所とのお付き合いの程度は、「挨拶を交わす程度」が5割弱で最も高く、「全く付き合いがない」が2割台半ば近くで続いています。

ご近所とのお付き合いの程度は、「挨拶を交わす程度」(49.4%)が5割弱で最も高く、次いで「全く付き合いがない」(24.3%)が2割台半ば近く、「立ち止まって世間話をする程度」(20.4%)が約2割で続いています。



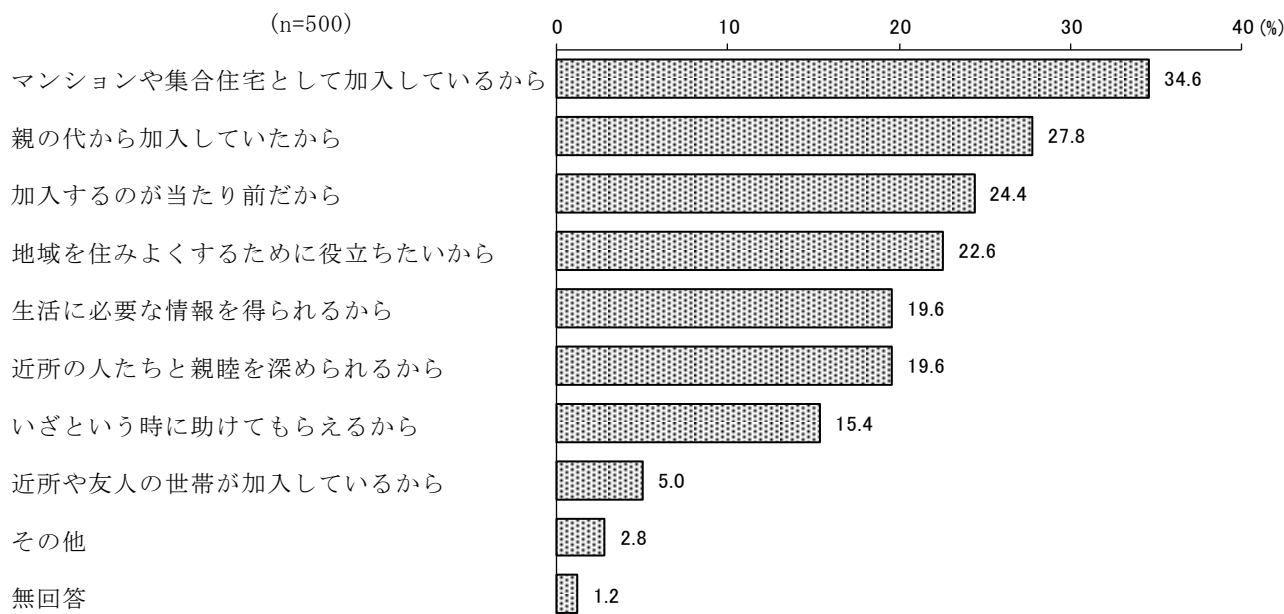
◆地域の町会・自治会加入状況は、「加入している」が4割台半ば近くで最も高くなっています。

地域の町会・自治会加入状況は、「加入している」(43.0%)が4割台半ば近くで最も高く、「加入していないが、町会・自治会があることは知っている」(26.6%)をあわせた《認知》(69.6%)は7割弱となっています。



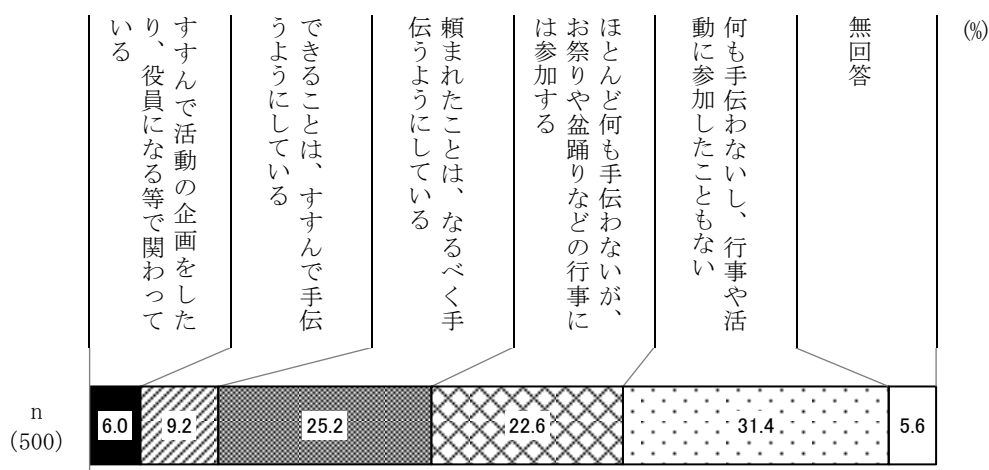
◆**町会・自治会に加入している理由は、「マンションや集合住宅として加入しているから」が3割台半ば近くで最も高く、「親の代から加入していたから」が2割台半ばを超えています。**

地域の町会・自治会に「加入している」と回答した人にその理由をたずねたところ、町会・自治会に加入している理由は、「マンションや集合住宅として加入しているから」(34.6%)が3割台半ば近くで最も高くなっています。次いで、「親の代から加入していたから」(27.8%)、「加入するのが当たり前だから」(24.4%)、「地域を住みよくするために役立ちたいから」(22.6%)が2割台で続いています。



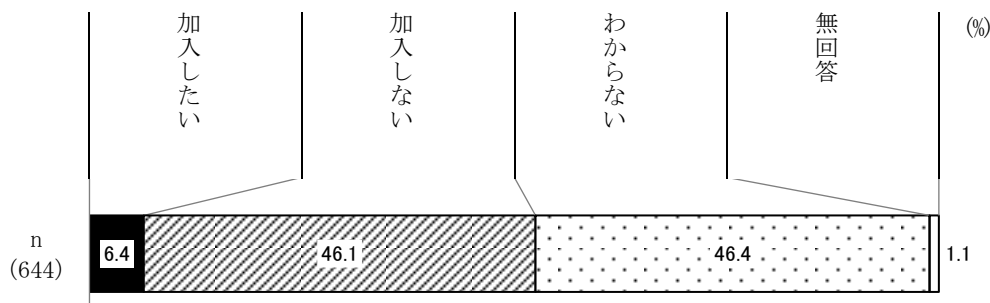
◆**ふだんの町会・自治会の行事や活動への関わり度合いは、「何も手伝わないし、行事や活動に参加したこともない」が3割強で最も高く、「頼まれたことは、なるべく手伝うようにしている」が2割台半ばで続いています。**

地域の町会・自治会に「加入している」と回答した人にふだんの町会・自治会の行事や活動への関わり度合いをたずねたところ、「何も手伝わないし、行事や活動に参加したこともない」(31.4%)が3割強で最も高くなっています。次いで、「頼まれたことは、なるべく手伝うようにしている」(25.2%)が2割台半ば、「ほとんど何も手伝わないが、お祭りや盆踊りなどの行事には参加する」(22.6%)が2割強で続いています。



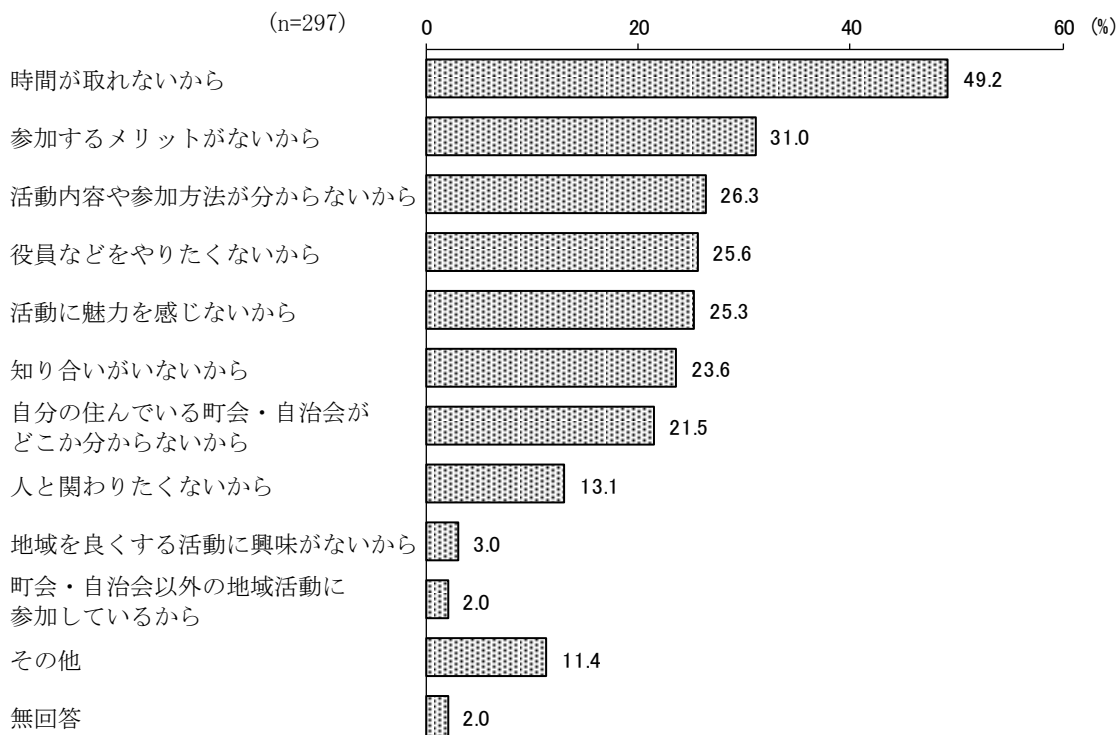
◆**町会・自治会への加入意向は、「加入しない」が4割台半ばを超えて高くなっていますが、「わからない」も4割台半ばを超えています。**

地域の町会・自治会に「加入していない」と回答した人に町会・自治会への加入意向をたずねたところ、「加入しない」(46.1%)と「わからない」(46.4%)が、それぞれ4割台半ばを超えています。「加入したい」(6.4%)は1割未満となっています。



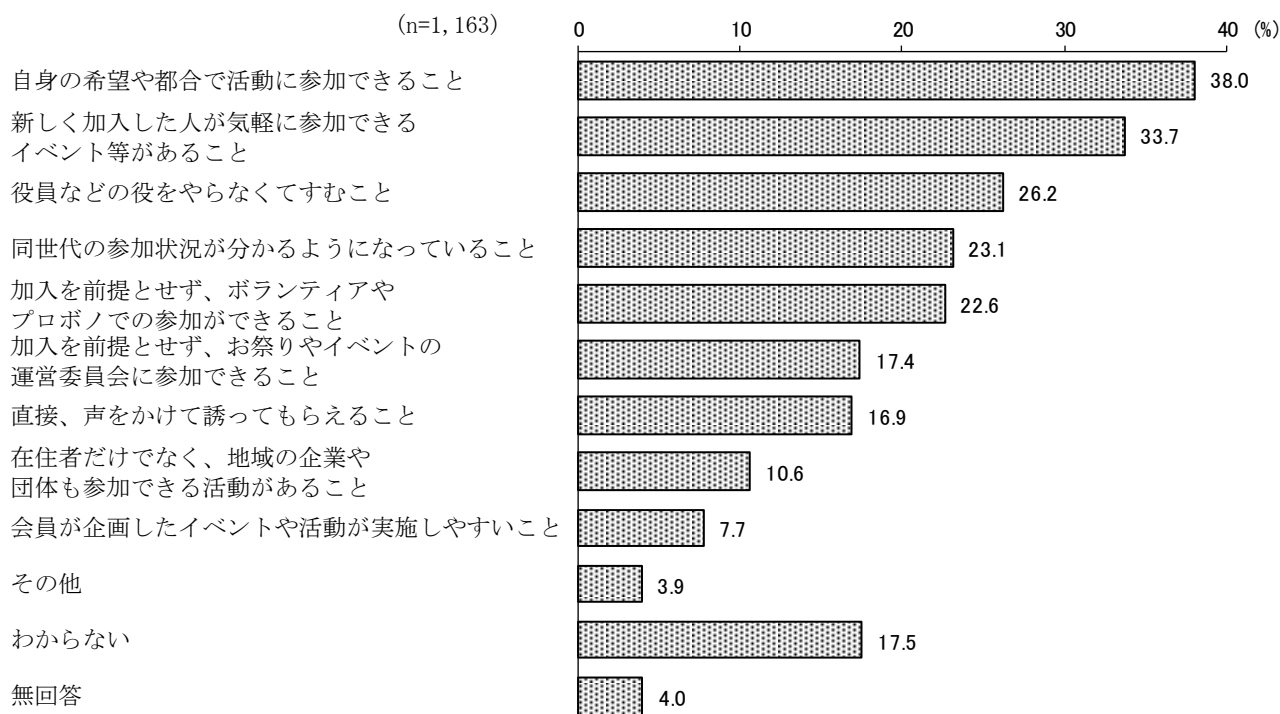
◆**町会・自治会に加入しない理由は、「時間が取れないから」が5割弱で最も高く、「参加するメリットがないから」が3割強で続いています。**

町会・自治会への加入意向で「加入しない」と回答した人に町会・自治会に加入しない理由をたずねたところ、「時間が取れないから」(49.2%)が5割弱で最も高くなっています。次いで、「参加するメリットがないから」(31.0%)が3割強、「活動内容や参加方法が分からないから」(26.3%)が2割台半ばを超えて続いています。



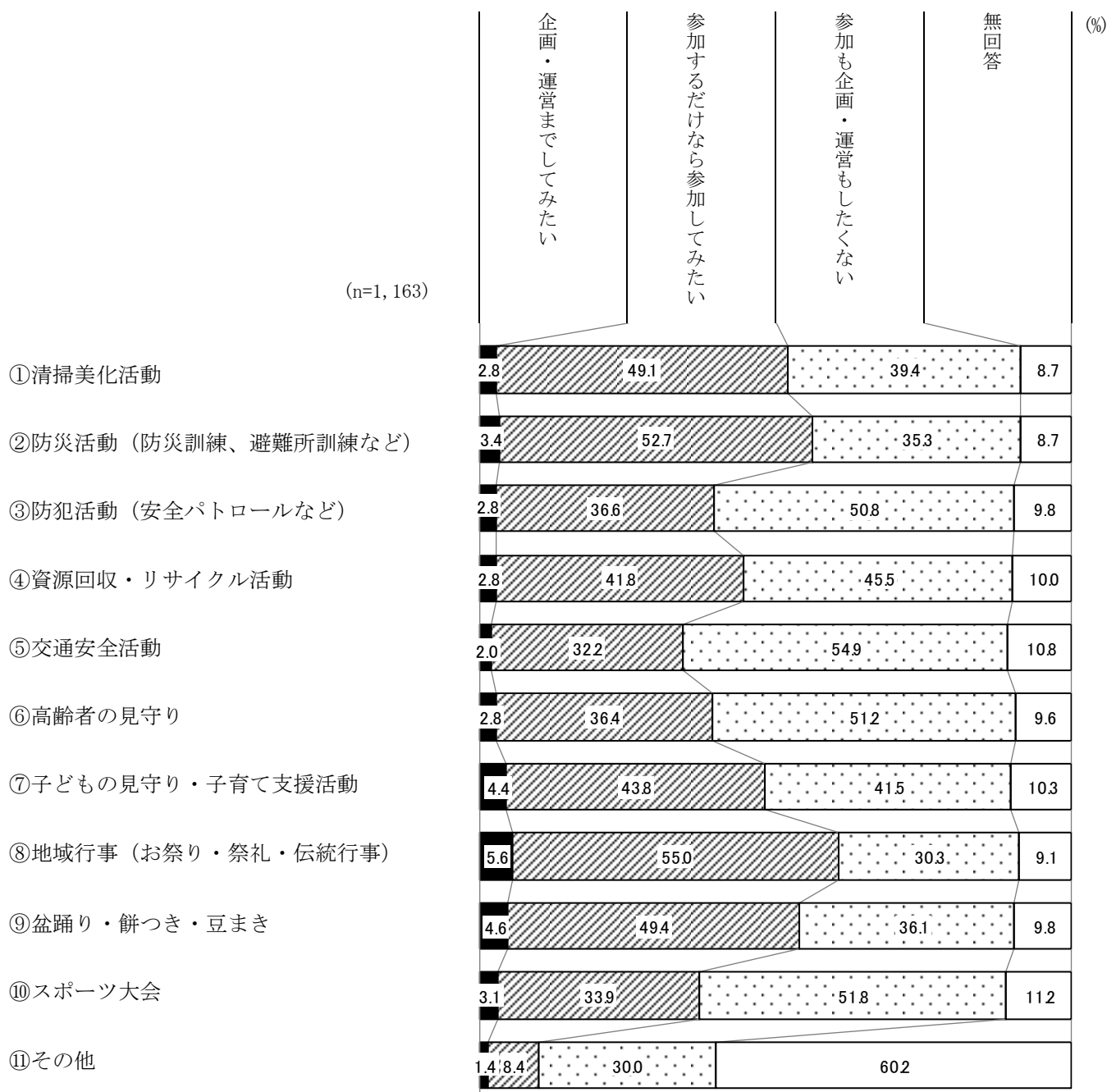
◆町会・自治会への加入や活動に参加する機会が増える運営方法は、「自身の希望や都合で活動に参加できること」が4割近くで最も高く、「新しく加入した人が気軽に参加できるイベント等があること」が3割台半ば近くで続いています。

町会・自治会への加入や活動に参加する機会が増える運営方法は、「自身の希望や都合で活動に参加できること」(38.0%)が4割近くで最も高くなっています。次いで、「新しく加入した人が気軽に参加できるイベント等があること」(33.7%)が3割台半ば近く、「役員などの役をやらなくて済むこと」(26.2%)が2割台半ばを超えて続いています。



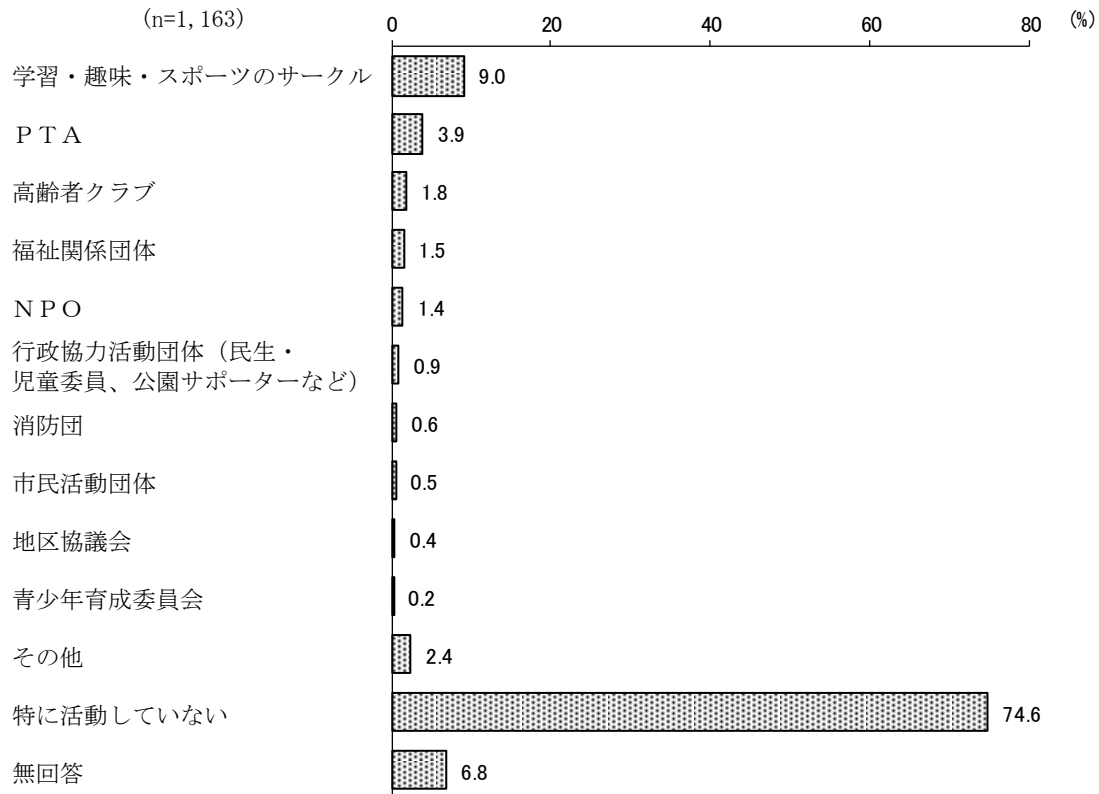
◆町会・自治会活動への参加・運営意向は、「参加するだけなら参加してみたい」は、『地域行事（お祭り・祭礼・伝統行事）』が5割台半ばで最も高く、『防災活動（防災訓練、避難所訓練など）』が5割強で続いています。

町会・自治会活動への参加・運営意向の「企画・運営までしてみたい」は、“⑧地域行事（お祭り・祭礼・伝統行事）”（5.6%）が最も高くなっていますが1割未満です。「参加するだけなら参加してみたい」は、“⑧地域行事（お祭り・祭礼・伝統行事）”（55.0%）が5割台半ばで最も高く、“②防災活動（防災訓練、避難所訓練など）”（52.7%）が5割強で続いています。「参加も企画・運営もしたくない」は、“③防犯活動（安全パトロールなど）”、“⑤交通安全活動”、“⑥高齢者の見守り”、“⑩スポーツ大会”が5割以上で高くなっています。



◆町会・自治会以外で参加している地域活動団体は、「特に活動していない」が7割台半ば近くを占めています。活動内容としては「学習・趣味・スポーツのサークル」が1割弱で最も高くなっています。

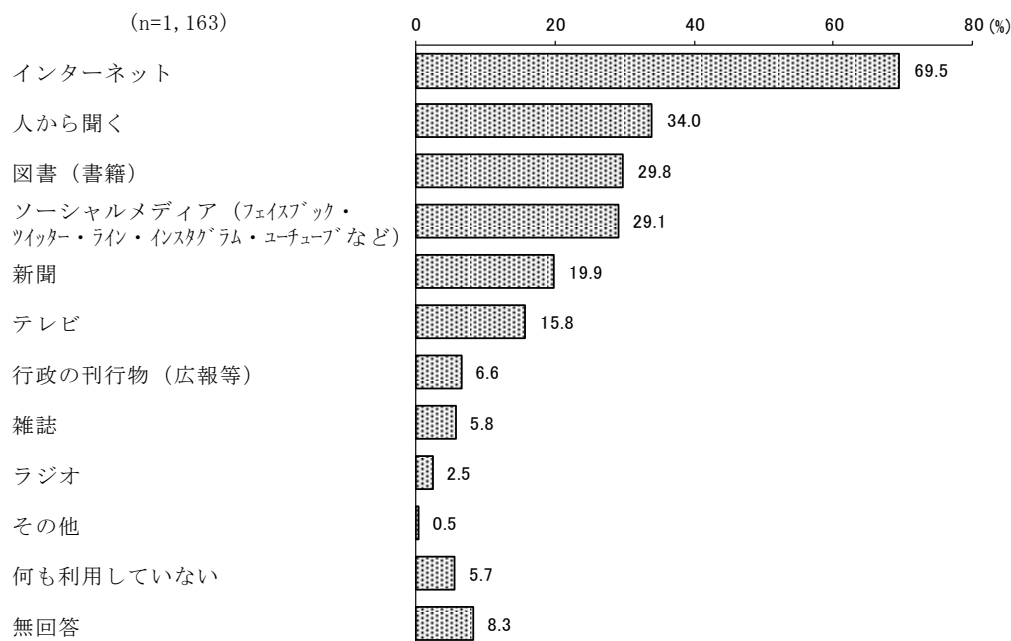
町会・自治会以外で参加している地域活動団体は、「特に活動していない」(74.6%)が7割台半ば近くを占めています。活動内容としては「学習・趣味・スポーツのサークル」(9.0%)が1割弱で最も高くなっています。



9 図書館サービス

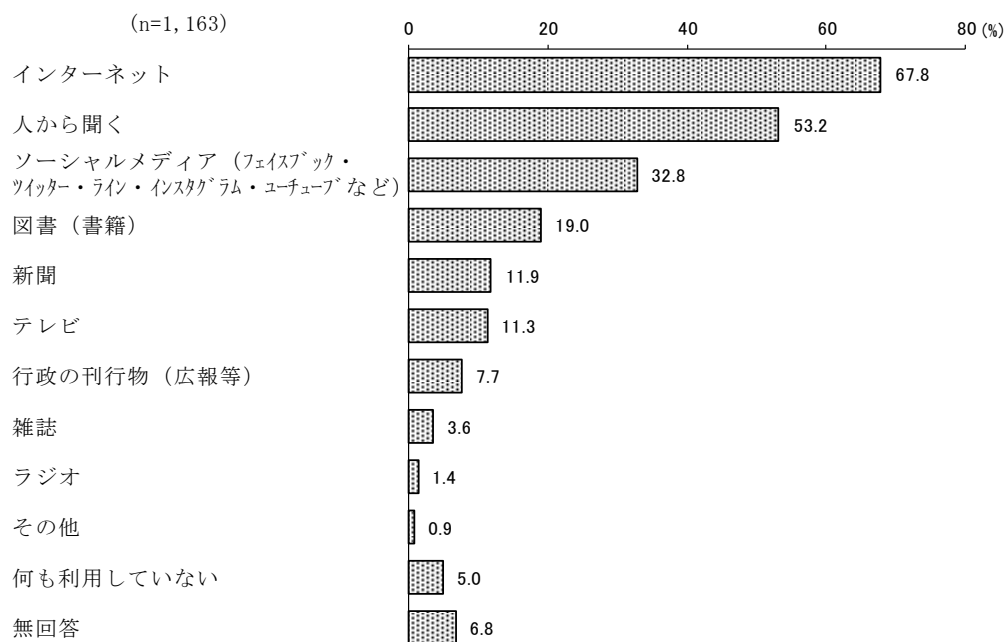
◆仕事（学業）の課題解決に役立てる情報入手経路は、「インターネット」が7割弱で最も高く、「人から聞く」が3割台半ば近くで続いています。

仕事（学業）の課題解決に役立てる情報入手経路は、「インターネット」（69.5%）が7割弱で最も高くなっています。次いで、「人から聞く」（34.0%）が3割台半ば近く、「図書（書籍）」（29.8%）と「ソーシャルメディア（フェイスブック・ツイッター・ライン・インスタグラム・ユーチューブなど）」（29.1%）が3割弱で続いています。



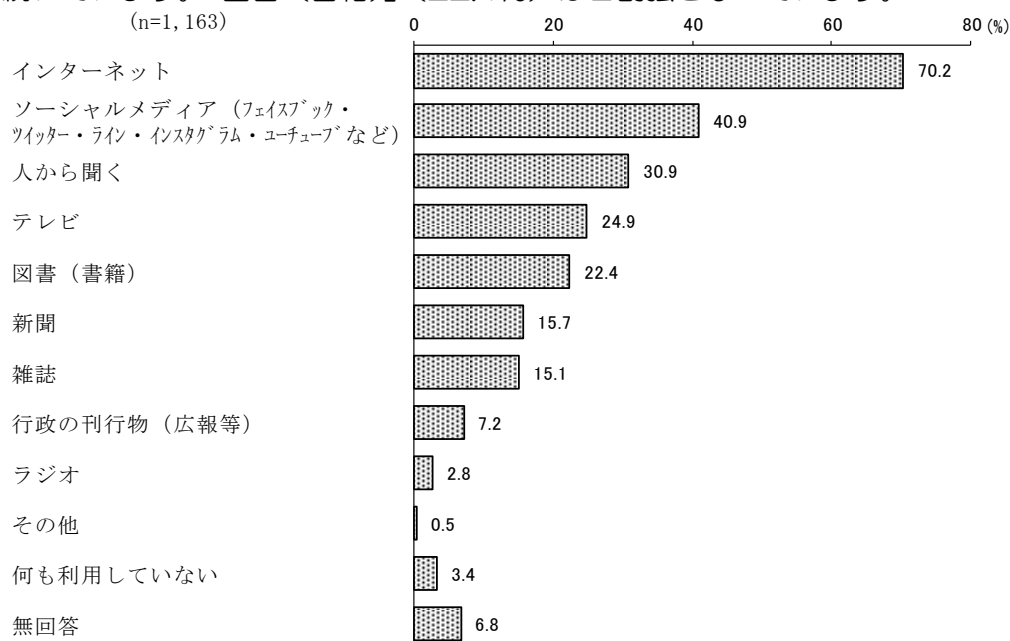
◆悩みごとや困りごとの解決に役立てる情報入手経路は、「インターネット」が6割台半ばを超え最も高く、「人から聞く」が5割台半ば近くで続いています。

悩みごとや困りごとの解決に役立てる情報入手経路は、「インターネット」（67.8%）が6割台半ばを超えて最も高くなっています。次いで、「人から聞く」（53.2%）が5割台半ば近く、「ソーシャルメディア（フェイスブック・ツイッター・ライン・インスタグラム・ユーチューブなど）」（32.8%）が3割強で続いています。「図書（書籍）」（19.0%）は2割弱となっています。



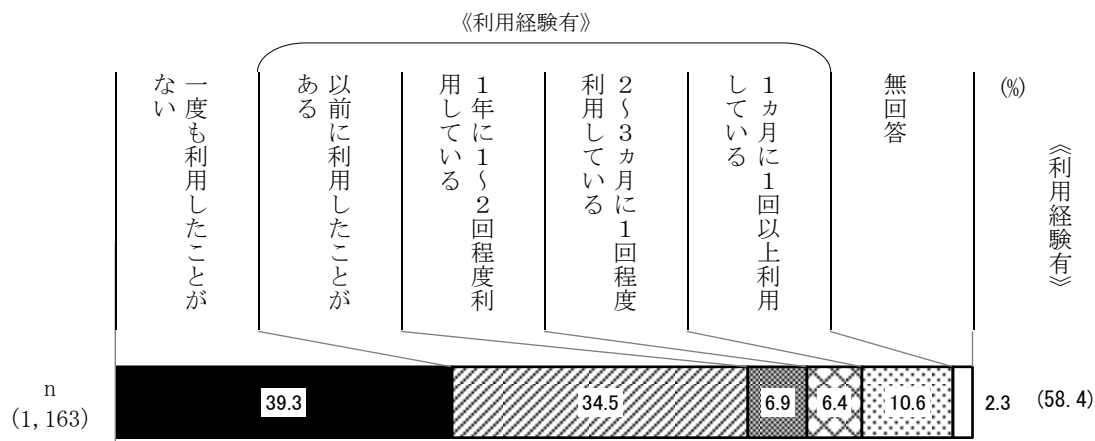
◆**教養・レクリエーション・興味や関心事に関する情報入手経路は、「インターネット」が約7割で最も高く、「ソーシャルメディア（フェイスブック・ツイッター・ライン・インスタグラム・ユーチューブなど）」が約4割で続いています。**

教養・レクリエーション・興味や関心事に関する情報入手経路は、「インターネット」(70.2%)が約7割で最も高くなっています。次いで、「ソーシャルメディア（フェイスブック・ツイッター・ライン・インスタグラム・ユーチューブなど）」(40.9%)が約4割、「人から聞く」(30.9%)が約3割で続いています。「図書（書籍）」(22.4%)は2割強となっています。



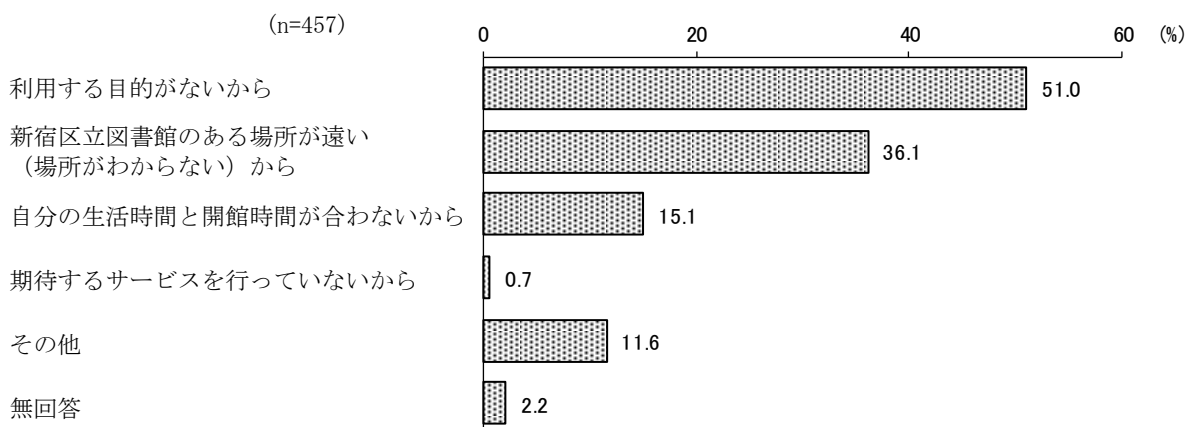
◆**新宿区立図書館利用頻度は、「以前に利用したことがある」「1年に1～2回程度利用している」「2～3カ月に1回程度利用している」「1カ月に1回以上利用している」をあわせた《利用経験有》が6割近くです。「一度も利用したことがない」が4割弱となっています。**

新宿区立図書館の利用頻度は、「以前に利用したことがある」(34.5%)、「1年に1～2回程度利用している」(6.9%)、「2～3カ月に1回程度利用している」(6.4%)、「1カ月に1回以上利用している」(10.6%)をあわせた《利用経験有》(58.4%)が6割近くです。「一度も利用したことがない」(39.3%)が4割弱となっています。



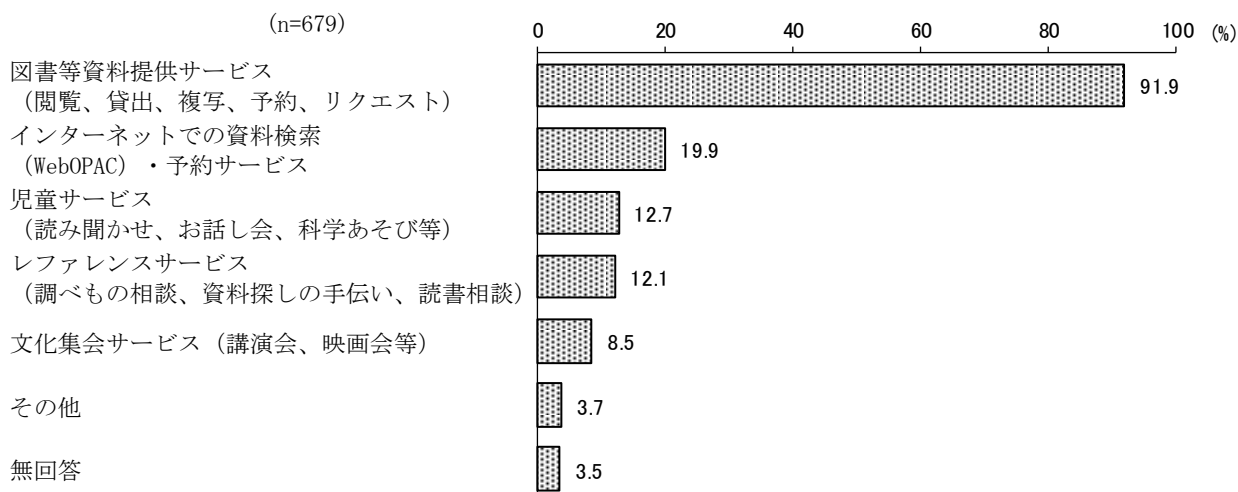
◆新宿区立図書館非利用理由は、「利用する目的がないから」が5割強で最も高く、「新宿区立図書館のある場所が遠い（場所がわからない）から」が3割台半ばを超えて続いています。

新宿区立図書館の利用頻度で、「一度も利用したことがない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「利用する目的がないから」（51.0%）が5割強で最も高くなっています。次いで、「新宿区立図書館のある場所が遠い（場所がわからない）から」（36.1%）が3割台半ばを超え、「自分の生活時間と開館時間が合わないから」（15.1%）が1割台半ばで続いています。



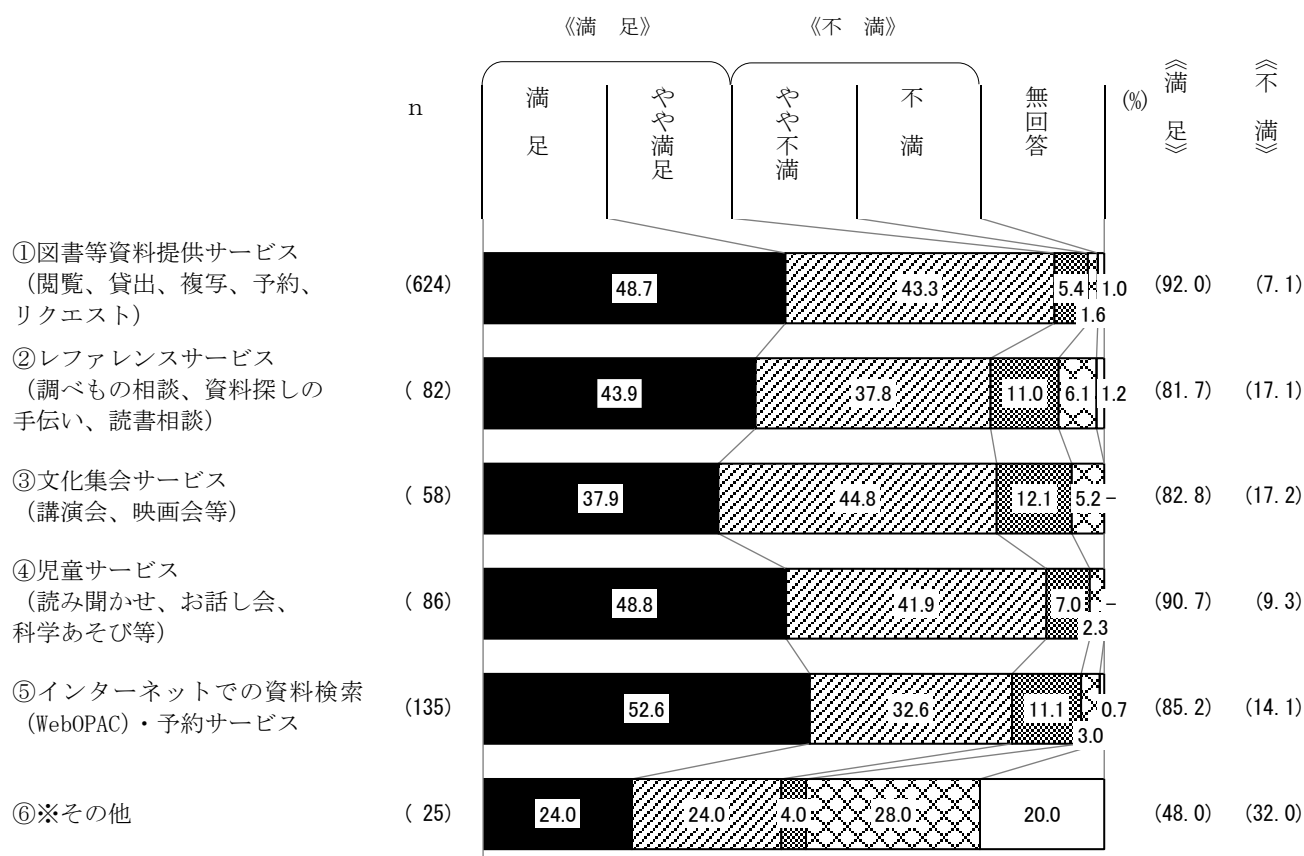
◆利用した図書館サービスは、「図書等資料提供サービス（閲覧、貸出、複写、予約、リクエスト）」が9割強で最も高く、「インターネットでの資料検索（WebOPAC）・予約サービス」が2割弱で続いています。

新宿区立図書館の利用頻度で、「利用経験有」と回答した人に利用した図書館サービスをたずねたところ、「図書等資料提供サービス（閲覧、貸出、複写、予約、リクエスト）」（91.9%）が9割強で最も高くなっています。次いで、「インターネットでの資料検索（WebOPAC）・予約サービス」（19.9%）が2割弱、「児童サービス（読み聞かせ、お話し会、科学あそび等）」（12.7%）と「レファレンスサービス（調べもの相談、資料探しの手伝い、読書相談）」（12.1%）が1割強で続いています。



◆利用サービスの評価は、「満足」「やや満足」をあわせた《満足》は、『①図書等資料提供サービス（閲覧、貸出、複写、予約、リクエスト）』が9割強で最も高く、『④児童サービス（読み聞かせ、お話し会、科学あそび等）』が約9割で続いています。

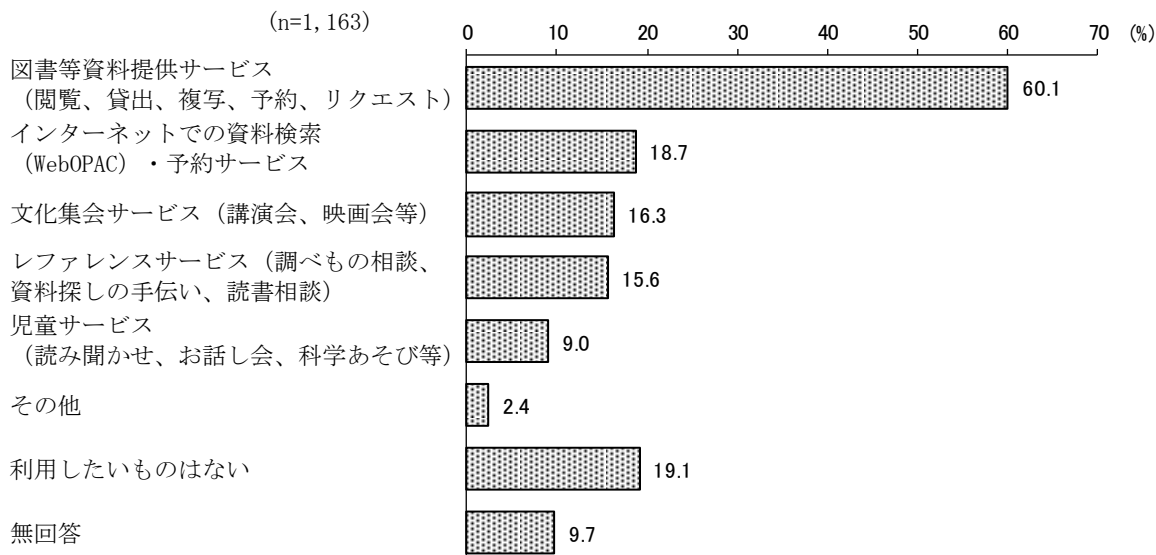
利用した図書館サービスで、各サービスを利用したと回答した人にその評価をたずねたところ、「満足」「やや満足」をあわせた《満足》は、“①図書等資料提供サービス（閲覧、貸出、複写、予約、リクエスト）”（92.0%）が9割強で最も高く、次いで、“④児童サービス（読み聞かせ、お話し会、科学あそび等）”（90.7%）が約9割で続いています。一方、「やや不満」と「不満」をあわせた《不満》が高いのは“③文化集会サービス（講演会、映画会等）”（17.2%）と“②レファレンスサービス（調べもの相談、資料探しの手伝い、読書相談）”（17.1%）で、それぞれ1割台半ばを超えています。



(注) 図表中の※印は基数が少ないため、参考までに図示のみとする。

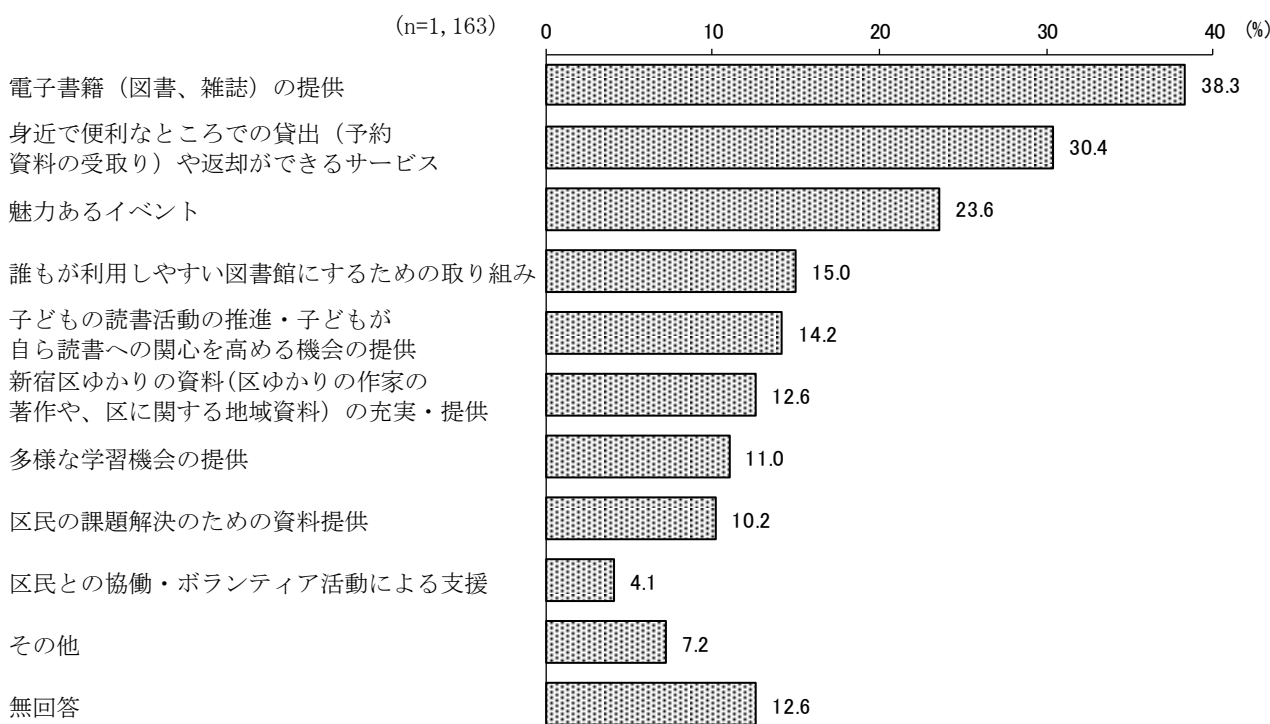
◆**利用してみたい図書館サービスは、「図書等資料提供サービス（閲覧、貸出、複写、予約、リクエスト）」が約6割で最も高く、「インターネットでの資料検索（WebOPAC）・予約サービス」が2割近くで続いています。**

利用してみたい図書館サービスは、「図書等資料提供サービス（閲覧、貸出、複写、予約、リクエスト）」（60.1%）が約6割で最も高くなっています。次いで、「インターネットでの資料検索（WebOPAC）・予約サービス」（18.7%）が2割近く、「文化集会サービス（講演会、映画会等）」（16.3%）が1割台半ばを超えて続いています。一方、「利用したいものはない」（19.1%）が2割弱となっています。



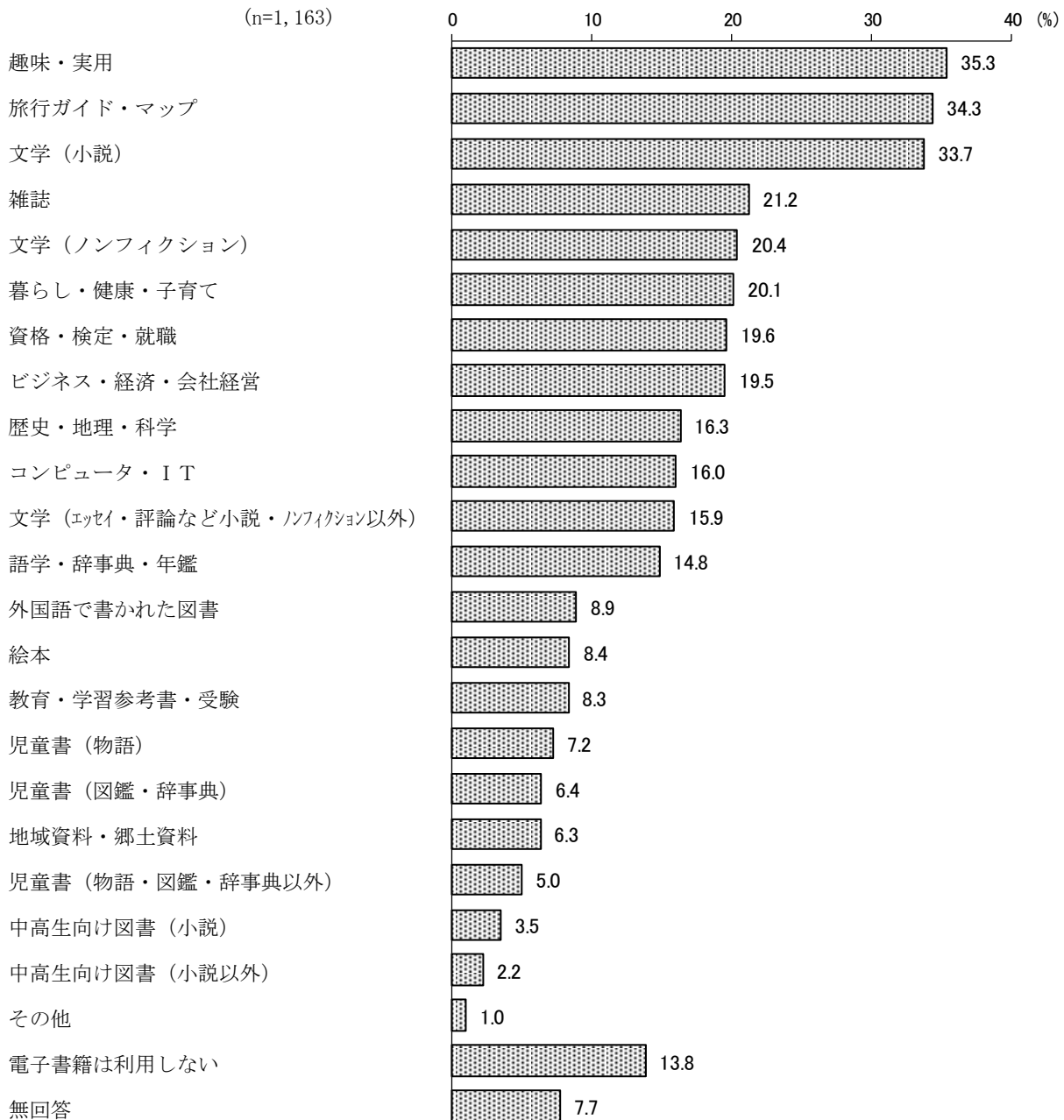
◆**期待する図書館サービスは、「電子書籍（図書、雑誌）の提供」が4割近くで最も高く、「身近で便利なところでの貸出（予約資料の受取り）や返却ができるサービス」が約3割で続いています。**

期待する図書館サービスは、「電子書籍（図書、雑誌）の提供」（38.3%）が4割近くで最も高くなっています。次いで、「身近で便利なところでの貸出（予約資料の受取り）や返却ができるサービス」（30.4%）が約3割、「魅力あるイベント」（23.6%）が2割台半ば近くで続いています。



◆利用してみたい電子書籍ジャンルは、「趣味・実用」が3割台半ばで最も高く、「旅行ガイド・マップ」「文学（小説）」が3割台半ば近くで続いています。

利用してみたい電子書籍ジャンルは、「趣味・実用」（35.3%）が3割台半ばで最も高くなっています。次いで、「旅行ガイド・マップ」（34.3%）と「文学（小説）」（33.7%）が3割台半ば近くで続いています。一方、「電子書籍は利用しない」（13.8%）は1割台半ば近くとなっています。



詳しい結果が載っている「令和5年度 新宿区区民意識調査」の報告書は、総合政策部区政情報課、区政情報センター、区立図書館で閲覧できます。

また、区のホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp> から全文を閲覧できます。

どうぞ、ご利用ください。

この印刷物は、業者委託により、700部印刷製本しています。その経費として1部あたり220円（税込み）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送費等は含んでいません。

令和5年度 新宿区区民意識調査 要約版

2024年（令和6年）1月発行

印刷物作成番号

2023-19-2106

【発行】 新宿区 総合政策部 区政情報課 広聴係
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1丁目4番1号
☎ 03 (5273) 4065 (直通)

【実施】 株式会社 アダムスコミュニケーション
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号
ブライトコアビル新館6階
☎ 03 (6847) 5757

●新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。

